

保健管理センター年報

第 21 号

(平成 8 年度)

岐阜大学保健管理センター

目 次

ま え が き

岐阜大学保健管理センター所長

I 健康管理業務

1. 学生の健康管理

- (1) 平成8年度学生の健康管理業務計画 1
- (2) 平成8年度学生・職員定期健康診断実施計画 2
- (3) 平成8年度学生定期健康診断実施結果 4
- (4) 平成8年度外国人留学生特別健康診断実施結果 15
- (5) 健康管理カードI・IIによる平成8年度新入学生健康調査・個別面接 22
- (6) 入学志願者の健康診断 25

2. 職員の健康管理

- (1) 平成8年度職員健康診断実施計画 27
- (2) 平成8年度職員一般定期健康診断実施結果 28
- (3) 平成8年度職員特別定期健康診断実施結果 30
- (4) 平成8年度放射線取扱者特別健康診断結果（学生・職員） 32

3. 平成8年度保健管理センター利用状況（学生・職員等） 34

II 研究・報告・調査

- 1. UPI簡略化の試み（○×選択方式より自発記入方式への切り替え） 50
- 2. UPI項目（25）チェック学生についての検討 56
- 3. エイズ講演会について 59
- 4. 平成8年度保健管理センター業務報告（関係行事を含む） 60
- 5. 平成8年度疾病分類別要管理者内訳 63
- 6. 平成8年度休学・退学・除籍者調べ 68

Ⅲ 参考資料

1. 健康診断受診率	70
2. 学生への配布資料「定期健康診断について」	72
3. 「健康のしおり」について	76

Ⅳ 保健管理センター規則等

1. 岐阜大学保健管理委員会規則	77
2. 岐阜大学保健管理センター規則	78
3. 岐阜大学健康管理機構略図	82
4. 保健管理医・学校医及び学生相談室員の担当日時	83
5. 関係職員	84
6. 建物平面図・位置図	87
7. 主要設備備品	88

ま え が き

岐阜大学保健管理センター所長 安田 圭 吾

近年、医療費の急増が21世紀の高齢化社会を迎えて社会問題化してきています。診療報酬の改訂や医療技術の進歩に伴う高額医療機器の増加など、いろいろな要因があると思いますが、人口の高齢化とともにいわゆる成人病が増加していることも大きな要因にあげられます。さらに、高齢化の進行に伴い高齢者介護の問題なども深刻化してきており、大きな社会問題となっています。

最近厚生省は「健康」と「生活の質」の向上を目的として「生活習慣病」という考え方を導入しました。快適さや便利さを追求した現代社会では、人々の生活習慣そのものが疾病の原因となっていることから、生活習慣に着目した疾病予防を目的として「成人病」に代わる概念として生活習慣病(lifestyle related disease)を導入しました。すなわち、生活習慣ががん、脳卒中、心臓病などの発症に深く関与していることから、「一次予防」を重視して生活習慣病という考えを導入し、生活習慣の改善を進めます。

成人病という言葉は、その対策を成人期から始めるものと受け取られかねない可能性がありました。その点、生活習慣病というネーミングは誤解を生む可能性は少ないと思われます。しかし、生活習慣の基本は、小児期につくられるものです。そのため生活習慣病の予防としての生活習慣の改善は、いわゆる成人期にはじめるものではなく、本来小児期、青年期に始めなければなりません。家庭教育や学校保健教育を通じて小児期、青年期から生涯を通じて生活習慣病の予防を心がけることが必要となります。ただ、生活習慣病にあげられる疾病の病因には、遺伝因子や外的要因も関与しているので、生活習慣の是正だけで予防できるわけではなく、また遺伝要因を有さない人ではたとえ生活習慣がどうあろうと発症しない人もいるものと思われます。どのような人々を対象に生活習慣の改善を推進するのがより効果的であるかなど、今後解決しなければならない課題が残されています。

現在の保健管理センターの業務は、健康診断の事後措置、健康相談、救急処置、本学の保健計画の立案、環境衛生の指導援助、診断書の発行など、多岐にわたっていますが、生活習慣病の一次予防も今後の重要な業務の一つになるものと思われます。学生、職員への健康教育、健康相談、などを通じて、これまでも行われてきたことではありますが、今後、さらに目的を明確にして推進する必要があるかと考えています。定期健康診断は、生活習慣病予防の第一歩ですが、年々受診率が低下しています。直接学生に接しておられる関係各位から、その重要性をお話し下さいますようご協力のほどお願い申し上げます。

本年度も保健管理センターの膨大な業務を滞りなく遂行することができました。学校医、学生相談室員をはじめ、多くの関係者のご協力の賜と感謝申し上げます。

I 健康管理業務

1. 学生の健康管理

(1) 平成8年度学生の健康管理業務計画

区 分		対 象 者	実施期間	検 査 項 目 等
健康調査及び個別面接	粗面接	新 入 生 全 員	入学直後	健康管理カードI・IIによる健康調査及び粗面接
	精密面接	要 精 密 面 接 者	4月下旬～ 6月下旬	精密面接、内科診察、心電図、 血圧測定、貧血検査、尿検査
定期健康診断		学 部 大 学 院 医 療 技 術 短 期 大 学 部 特 殊 教 育 特 別 専 攻 科 農 業 別 科 研 究 生 全 員 (7 , 6 6 2 人)	4月中旬～ 5月下旬	内科診察 エックス線間接撮影 身体計測(身長・体重)、視力 測定(2、3年については希望 者のみ実施) 尿検査(蛋白、糖) 血圧測定(1年のみ)
定期健康診断 (精密検査)		要 再 検 ・ 精 検 者	4月下旬～ 6月下旬	エックス線直接撮影、赤沈、 血糖検査、貧血検査、心電図、 尿検査、血圧測定、内科診察 等
臨時健康診断		伝染病等が発生した時に必要に応じて行う。		
特別 健康 診 断	放射線取扱者健診	該 当 者	4月・10月	血液検査、皮膚の検査、問診
	留学生健診	該 当 者	10月	エックス線直接撮影、 尿検査、血圧測定、内科診察 血液検査、問診等
継続観察者の 再検査、健康相談		要 観 察 者	随 時	エックス線直接撮影、赤沈、血 糖検査、貧血検査、心電図、尿 検査、血圧測定、内科診察等

(2) 平成8年度学生・職員定期健康診断実施計画

年月日	曜日	対 象	検査区分	対象人員	実施場所
8.4.17	水	医療技術短期大学部（全員）、職員	定期健診	270	北野町 医療短大
18	木	教育学部（4年）、教研究科（全員）、工研究科（後期全員）	〃	400	保健管理センター
19	金	再検査（医短4月17日の受検者）	再検査	該当者	〃
24	水	工学部（2年男子）	定期健診	400	〃
25	木	工学部（4年男子）	〃	400	〃
26	金	工学部（夜間主コース全員）	〃	300	〃
30	火	再検査（工4年の受検者）	再検査	該当者	〃
5.7	火	農学部（3年）、医学部（1・2年）	定期健診	400	〃
◎ 8	水	教育学部（2年）、工研究科（前期2年）、農研究科（全員）	〃	500	〃
10	金	農学部（4～6年）、連農・連獣（全員）	定期健診	400	〃
〃	〃	再検査（医短4月17日、夜間主コース4月26日の受検者）	再検査	該当者	〃
13	月	再検査（工研2年、農研2年、農4・6年の受検者）	〃	〃	〃
14	火	医学部（3～6年）、医研究科（全員）	定期健診	400	司町 医学部
15	水	工学部（1年男子）	〃	400	保健管理センター
15～21	水～火	再検査（医、医研5月14日の受検者）	再検査	該当者	司町 医学部
16	木	農学部（1年）、工研究科（前期1年）	定期健診	400	保健管理センター
17	金	再検査（医短4月17日、夜間主コース4月26日の受検者）	再検査	該当者	〃
20～24	月～金	再検査（教育4年、4月18日の受検者）	〃	〃	〃
21	火	工学部（3年男子）	定期健診	400	〃
◎ 22	水	教育学部（1年）、農学部（2年）、工学部（女子）	〃	500	〃
23	木	再検査（工女子4年、工研女子2年の受検者）	再検査	該当者	〃
24	金	教育学部（3年）、その他	定期健診	400	〃
28	火	職員（柳戸地区）	〃	400	〃
29	水	職員（柳戸地区）	〃	400	〃
6.4	火	職員（司地区）	定期健診	400	司町 医学部
5	水	職員（司地区）	〃	400	〃
14	金	X線直接撮影（司地区）	精密検査	該当者	〃
〃	〃	X線直接撮影（柳戸地区）	〃	〃	保健管理センター
3～21		再診察、再検査（学生・職員）—— 診察、事後指導、心電図、血圧、血液（貧血・糖）、尿、			

(注) 1. 特殊教育特別専攻科、農業別科の学生と研究生は、上記の定期健診のうち、本人の都合のよい日に受
2. ◎印の日は、X線撮影を2か所（保健管理センター内の撮影室と検診車）で実施します。

実施時間	担当医師数	センター医師数	学外医師数	医学部医師数	看護婦数	備 考
13:00~16:00	2	2			2	定期健診 ・内科診察 ・胸部X線間接撮影 ・尿検査 ・血圧測定 職 員 新入生 ・身体計測 体重 身長 視力 再検査 ・血圧測定 ・尿検査 精密検査 ・内科診察 ・心電図 ・血液検査 貧血検査 血糖検査 ・胸部X線直接撮影
13:00~16:00	4	2	1	1	4	
17:00~19:00						
13:00~16:00	4	1		3	4	
13:00~16:00	4	2	1	1	4	
17:30~20:00	3	2		1	4	
9:00~11:00						
13:00~16:00	4	2	1	1	4	
13:00~16:00	5	2		3	4	
13:00~16:00	4	1		3	4	
17:00~19:00						
9:00~11:00						
11:00~14:00	4	2		2	2	
13:00~16:00	4	1		3	4	
13:00~16:00	4	2	1	1	4	
17:00~19:00						
9:00~11:00						
13:00~16:00	4	2	1	1	4	
13:00~16:00	5	2		3	4	
9:00~11:00						
13:00~16:00	4	1		3	4	
13:00~16:00	3	2	1		4	
13:00~16:00	3	2		1	4	
13:00~16:00	6	2		4	2	
13:00~16:00	6	2		4	2	
10:00~11:00						
13:00~14:00						

聴力、体内脂肪、その他

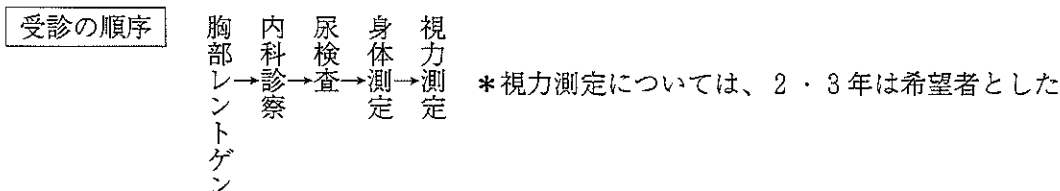
診させる。

(3) 平成8年度学生定期健康診断実施結果

1. 健康診断実施方法について

8年度より健診の受診方法を変更した。

従来は空いている健診場所に自由に受診する方式であったのを、受診順序を決めて実施した。



(利点) <受診者> レントゲン以外は、殆ど待ち時間なしで受けられる。

<実施者> 一階の混雑が解消できた。

流れがスムーズなので、必要時個別に対応・指導ができる。

自動視力計の設置により職員の削減ができた。

(欠点) <受診者> レントゲンで混んでいる時は、一時間程度の待ち時間がある。

したがって、時間のない学生は途中で放棄して帰ってしまう。

2. 受診率について

①学部生

受診率の推移をみると、平成4年度の95.5%をピークに年々低下し、今年度は平成元年の74.3%、昭和60年の81.3%につぐ悪い結果となった。今年度も未受診者に対して特別に健診日を設け、掲示で受診の勧奨をおこなったが、受診者は124名にとどまった。

過去5年間の推移

年度	受診率
4	95.5%
5	94.6%
6	93.3%
7	92.8%
8	85.9%

今回は、レントゲン機器の故障が3～4回あり、撮影を中止したり、修理・点検に時間を要したことが待ち時間を長くし、受診をとりやめた学生もいる。受診率低下の一因とも考えられる。

学部別の受診率を見ると、工学部（昼間）が昨年度の93.1%から81.9%、工学部（夜間主）が79.3%から68.1%に低下している。（表1）

学年別の受診率は、5・6年以外はどの学年も低下がみられる。特に、1・2年の受診率の低下が大きい。（表2）

②医療技術短期大学部

対象者238名中未受診者は1名で、今年度も高率であった。

③大学院

受診率は76.4%であるが、研究科によって差がみられる。

3. 胸部X線撮影結果

間接撮影受検者6010名中、一次読影で所見のあった者は20名あり、そのうち二次読影の結果で直接撮影が必要となった者は13名であった。また、前年度からの経過観察者で要直接になっていた者を含め、計17名が直接撮影の対象者となった。直接撮影の結果、要治療1名（医学研究科の留学生）、要観察7名、放置可は9名であった。

4. 内科診察結果

①学部生

受診者5020名中、有所見は122名（有所見率2.4%）あった。再診察の結果、異常なし27名、要観察63名、要精検2名、要治療11名となった。未受診者は19名あった。

②医療技術短期大学部

受診者234名中、有所見は2名（有所見率0.8%）あった。再診察の結果、要観察1名、要治療1名となった。

③大学院

受診者726名中、有所見は25名（有所見率3.4%）あった。再診察の結果、異常なし3名、要観察18名、要精検1名、要治療3名となった。

5. 尿検査結果

①尿蛋白

一次検査で（±）または（+）の者は随時尿による再検査としている。

また、（++）以上、試薬による判定で陽性の者、前年度からの経過観察者は早朝尿による再検査とした。

本年は、尿検査においても混雑がなかったため、その場で試薬による判定ができた。そのため、未受診者の数を減らすことができた。

受検者総数5974名中、尿蛋白の有所見者数は298名（有所見率5.1%）あり、随時尿再検査106名、早朝尿再検査206名あった。随時尿検査中、異常なしは81名（71.4%）だったが、22名は所見があったため早朝尿検査を実施した。

早朝尿検査の結果は、206名中、放置可152名（0.5%） 要観察26名（12.6%） 要精検1名（0.5%） 要治療1名（0.5%）であった。

②尿糖

一次検査で（±）以上または前年度より経過観察中の者を二次検査の対象とし、食後血糖と尿検査を実施した。また、二次検査の結果さらに糖負荷が必要になった者に三次検査を実施した。

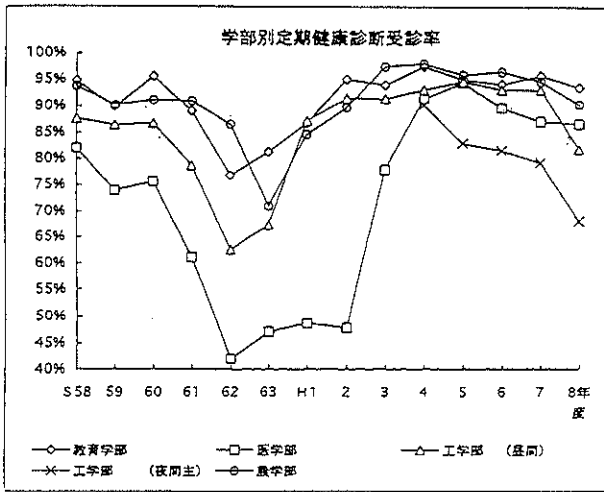
受検者総数5974名中、糖尿の有所見は17名（有所見率0.3%）だった。二次検査の結果、放置可が10名、要観察3名、要精検2名、要治療1名（治療中）であった。三次検査は2名実施し要観察となっている。

6. 血圧測定結果

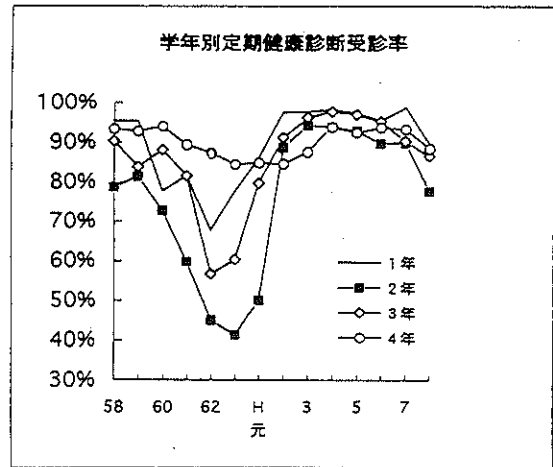
健康調査面接時、一年生を対象に実施している。（自動血圧計を使用）140mmHg以上、最小血圧90mmHg以上の者を再検査の対象とした。

受検者総数1284名中44名（3.4%）が再検査となり、その結果異常なし24名、要観察2名で、要精検・要治療は該当者がなかった。また、再検査の未受診の者が18名あった。

(表1)

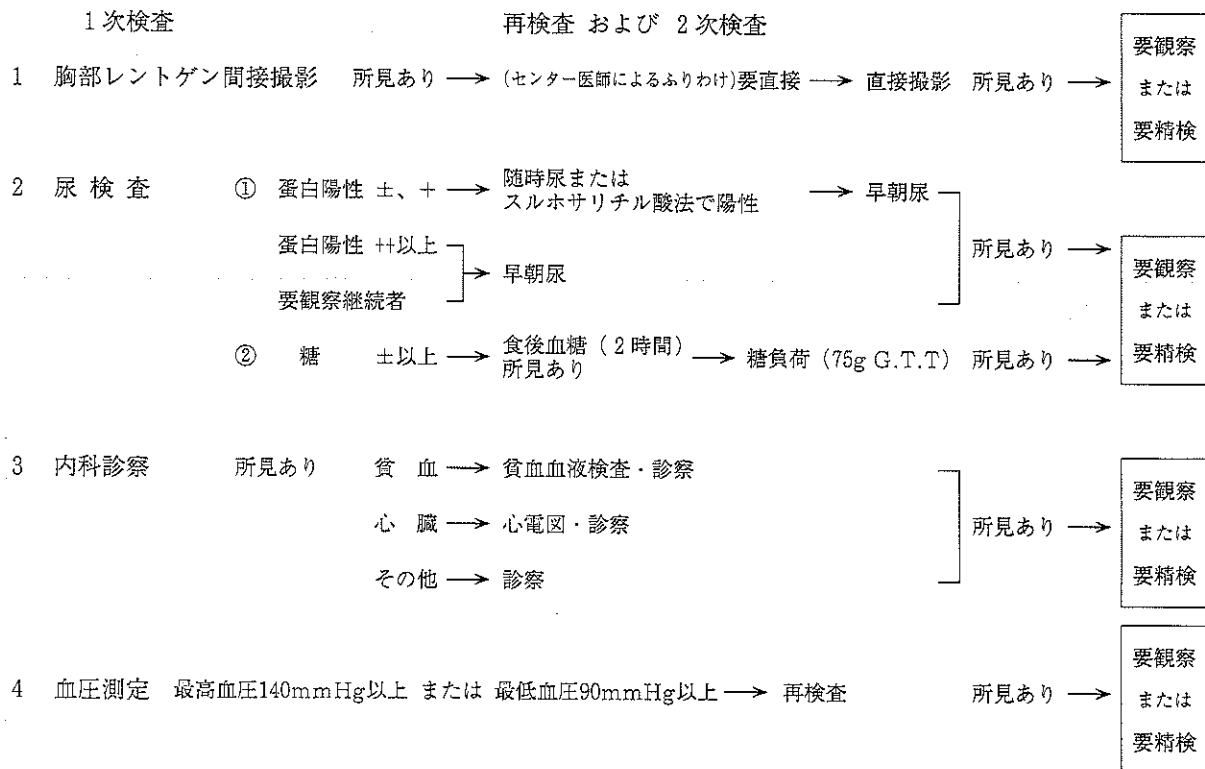


(表2)



〈参考〉

学生の定期健康診断フォロー体制



〈平成8年度学生定期健康診断実施結果 資料〉

① 受診状況

所属	区分	在学 者数	休学者数		対象 者数	受診 者数	受診率	未受診 者数	胸部X線撮影				内科診察		尿検査		血圧測定		
			疾病 者数	疾病 以外					間接		直接		受検 者数	未受検 者数	受検 者数	未受検 者数	受検 者数	未受検 者数	
									受検 者数	未受検 者数	要直接 者数	未受検 者数							
学部	教育学部	1,454	1	14	1,439	1,347	93.6	92	1,342	97	1	0	1,345	94	1,321	118	334	7	
	医学部	491	1	2	488	423	86.7	65	419	* (1) 69	1	0	420	68	412	76	78	2	
	工学部	昼間	2,499	-	33	2,466	2,020	81.9	446	2,019	447	7	0	2,020	446	2,016	450	560	2
		夜間主																	
	農学部	1,100	-	6	1,094	989	90.4	105	988	106	2	0	989	105	978	116	247	5	
	合計	5,917	2	61	5,854	5,029	85.9	825	5,011	* (3) 843	11	0	5,020	834	4,971	883	1,284	33	
医療技術短期 大学部	242	1	3	238	237	99.6	1	237	1	0	-	234	4	237	1	82	0		
大学院	教育学科	77		2	75	48	64.0	27	47	28	1	0	47	28	47	28			
	医研究科	146		3	143	47	32.9	96	46	97	1	0	44	99	43	100			
	工学研究科	前期	415		6	409	382	93.4	27	382	27	1	0	382	27	382	27		
		後期																76	1
	農研究科	178		1	177	167	94.4	10	167	10	1	0	167	10	167	10			
	連合農学 研究科	64		3	61	41	67.2	20	41	20	1	0	41	20	41	20			
	連合獣医 学研究科	16		0	16	13	81.3	3	13	3	0	-	13	3	13	3			
	合計	972	0	16	956	730	76.4	226	728	228	6	0	726	230	725	231			
研究生等	特殊教育 特別専攻科	8			8	6	75.0	2	6	2	1	0	6	2	6	2			
	農業別科	2			2	2	100.0	0	2	0			2	0	2	0			
	教育学部 研究生等	21			21	0	0	21	0	21			0	21	0	21			
	工学部 研究生等	25			25	18	72.0	7	18	7			18	7	18	7			
	農学部 研究生等	29			29	5	18.5	24	5	24			5	24	5	24			
	教養部 研究生等	7			7	0	0	7	0	7			0	7	0	7			
	教育学研究 科研究生等	4			4	0	0	4	0	4			0	4	0	4			
	医学研究科 研究生等	0			0	-	-												
	工学研究科 研究生等	4			4	1	25.0	3	1	3			1	3	1	3			
	農学研究科 研究生等	12			12	7	58.3	5	7	5			7	5	7	5			
	連農研究科 研究生等	2			2	2	100.0	0	2	0			2	0	2	0			
	合計	114	0	0	114	41	35.9	73	41	73	1	0	41	73	41	73			

* () は経過観察者で間接は撮らないで直接を撮影した者の内数を記す
血圧測定は学部・医短1年生のみ実施した

② 胸部X線撮影

所 属	間 接 撮 影			一次読影結果		有所見者二次読影結果			直 接 撮 影				そ の 他							
	対象者数	受検者数	受検率	異常なし	有所見者数	直 接 不 要			対象者数 ()	未受検者数	結 果			対象者数	未受検者数	結 果				
						放置可	要観察	その他			要直接	放置可	要観察			要精検	要治療	放置可	要観察	要精検
学 部	教育学部	1,439	1,342 2名は医療機関で撮影	93.3	1,338	4	1	2	1	1	1	1	1	1						
	医学部	488	419	85.9	419	0					1 *(1)		1							
	工学部	昼間	2466	2,019	81.9	2,012	7		1	2	4	7 *(2)	3 2名他で撮影	3 1名他で撮影		2		1	1	
		夜間主	367	243 5名は医療機関で撮影	66.2	243	0													
	農学部	1,094	988	90.3	985	3			1	2	2		2			1		1		
	合 計	5,854	5,011 7名は医療機関で撮影	85.6	4,997	14	1	3	3	7	11 *(3)	6 3名他で撮影	5 1名他で撮影		3		2	1		
医 大	医療技術短期学部	238	237	99.6	237	0					0				0					
大 学 院	教育学研究科	78	47	62.7	46	1				1	1	0	1							
	医学研究科	143	46	32.2	45	1				1	1	0			1					
	工学研究科	前期	409	382	93.4	380	2				2	2	0	1	1					
		後期	75	32	42.7	32	0													
	農学研究科	177	167	94.4	167	0														
	連合農学研	61	41	67.2	40	1				1	1	0		1						
	連合獣医学研	16	13	81.3	13	0														
合 計	956	728	76.2	723	5				5	5	0	2	2		1	0				
研 究 生 等	特殊教育特別専攻科	8	6		5	1				1	1		1							
	農業別科	2	2		2	0														
	教育学部等	21	0		—	—														
	工学部等	25	18		18	0														
	農学部等	29	5		5	0														
	教養部等	7	0		—	—														
	教育学研究科等	4	0		—	—														
	医学研究科等	0	—																	
	工学研究科等	4	1		1	0														
	農学研究科等	12	7		7	0														
	連農研究科等	2	2		2	0														
合 計	114	41		40	1				1	1		1			0					

* () は経過観察者で間接は撮らないで直接を撮影した者の内数を記す
(注) 要治療に治療中のものを含む

③ 内科診察

所 属	一 次 診 察					再診察・再検査					(再掲) 再検査実施内訳					
	対象者数	受診者数	受診率	有所見者数	対象者数	結 果				未受診	心電図	貧血	血糖	血圧	その他	
						異常なし	要観察	要精検	要治療							
学 部	教 育 学 部	1,439	1,345	93.5	41	41	10	25	1	4	1	8	9		2	
	医 学 部	488	420	86.1	6	6		6				2				
	工 学 部	昼 間	2,466	2,020	81.9	45	45	11	21		3	10	10	1	3	2
		夜 間 主	367	246	67.0	1	1	1								
	農 学 部	1,094	989	90.4	29	29	5	11	1	4	8	4	6			
合 計	5,854	5,020	85.8	122	122	27	63	2	11	19	24	16		5	2	
医療技術短期大学部		238	234	98.3	2	2		1		1			1		1	
大 学 院	教育学研究科	75	47	62.7	1	1		1								
	医学研究科	143	44	30.8	0											
	工学研究科	前期課程	409	382	93.4	6	6	2	4			3	2			
		後期課程	75	32	42.7	3	3	1	1		1					
	農学研究科	177	167	94.4	10	10		7	1	2		3	2	1		
	連合農学研究科	61	41	67.2	4	4		4					2		1	
	連合獣医学研究科	16	13	91.3	1	1		1								
	合 計	956	726	75.9	25	25	3	18	1	3		6	6	1	1	
研 究 生 等	特殊教育専攻	8	6		0	0										
	農業別科	2	2		0	0										
	教育学部研究生等	21	0		—	—										
	工学部研究生等	25	18		0	0										
	農学部研究生等	29	5		0	0										
	教養部研究生等	7	0		—	—										
	教育学研究科等 研 究 生 等	4	0		1	1										
	医学研究科等 研 究 生 等	0	0		—	—										
	工学研究科等 研 究 生 等	4	1		0	0										
	農学研究科等 研 究 生 等	12	7		0	0										
連合農研究科等 研 究 生 等	2	2		0	0											
合 計	114	41		0	0											

(注) 要治療に治療中のものを含む

④ 尿検査〈蛋白〉

所 属	一 次 検 査						再 検 査									
	対象者数	受検者数	受検率	有所見者数	随時尿対象者	結 果		未受検	早朝尿対象者	結 果				未受検		
						異常なし	所見あり			放置可	要観察	要精検	要治療			
学 部	教 育 学 部	1,439	1,321	91.8	79	25	18	7		61	48	7			6	
	医 学 部	488	412	84.4	12	1	1			11	4	4			3	
	工 学 部	昼 間	2,466	2,016	81.8	88	34	25	8	1	54	40	6	1		7
		夜 間 主	367	244	66.5	21	3	3			18	17				1
	農 学 部	1,094	978	89.4	70	29	24	4	1	45	32	4		1	8	
	合 計	5,854	4,971	84.9	270	92	71	19	2	189	141	21	1	1	25	
医療技術短期大学部		238	237	99.6	5					5	4	1				
大 学 院	教育学研究科	75	47	62.7	1					1	1					
	医学研究科	143	43	30.1	1					1		1				
	工学研究科	前期課程	409	382	93.4	16	11	8	3		8	5	2		1	
		後期課程	75	32	42.7	0										
	農学研究科	177	167	94.4	4	3	2		1	1		1				
	連合農学研究科	61	41	67.2	0											
	連合獣医学研究科	16	13	81.3	0											
	合 計	956	725	75.8	22	14	10	3	1	11	6	4			1	
研 究 生 等	特殊教育特別専攻科	8	6		1					1	1					
	農業別科	2	2		0											
	教育学部研究生等	21	0		—											
	工学部研究生等	25	18		0											
	農学部研究生等	29	5		0											
	教養部研究生等	7	0		—											
	教育学研究科等研究生	4	0		—											
	医学研究科等研究生	0	—		—											
	工学研究科等研究生	4	1		0											
	農学研究科等研究生	12	7		0											
	連合農研究科等研究生	2	2		0											
	合 計	114	41	—	1					1	1					

(注) 要治療に治療中のものを含む

⑤ 尿検査〈糖〉

所 属	一 次 検 査					二次検査（食後血糖）					三次検査（糖負荷）							
	対象者数	受検者数	受検率	有所見者数	対象者数	結 果				未受検	対象者数	結 果				未受検		
						放置可	要観察	要精検	要治療			異常なし	要観察	要精検	要治療			
学部	教育学部	1,439	1,321	91.8	1	1	1					0						
	医学部	488	412	84.4	1	1	1					0						
	工学部	昼間	2,466	2,016	81.8	2	2	1			1	0						
		夜間主	367	244	66.5	0	0					0						
	農学部	1,094	978	89.4	3	3	3					0						
	合計	5,854	4,971	84.9	7	7	6				1	0						
医大	療技術短期学	238	237	99.6	5	5	2	1	2		2		2					
大学院	教育学科	75	47	62.7	0	0					0							
	医学研究科	143	43	30.1	0	0					0							
	工学研究科	前期課程	409	382	93.4	3	3	2	1			0						
		後期課程	75	32	42.7	0	0					0						
	農学研究科	177	167	94.4	0	0					0							
	連合農学科	61	41	67.2	1	1		1			0							
	連合獣医学科	16	13	81.3	1	1				1	0							
	合計	956	725	75.8	5	5	2	2		1	0							
研究生等	特殊教育特別専攻科	8	6		0	0												
	農業別科	2	2		0	0												
	教育学部等	21	0		—													
	工学部等	25	18		0	0												
	農学部等	29	5		0	0												
	教養部等	7	0		—													
	教育学研究科等	4	0		—													
	医学研究科等	0	—		—													
	工学研究科等	4	1		0	0												
	農学研究科等	12	7		0	0												
	連農研究科等	2	2		0	0												
	合計	114	41	—	0	0												

(注) 要治療に治療中のものを含む

⑥ 血圧（一年生のみ）

所 属		一 次 検 査				再 検 査						
		対象者数	受検者数	受 検 率	有所見者数	対象者数	結 果				未 受 検	
							異常なし	要 観 察	要 精 検	要 治 療		
学 部	教育学部	341	334	97.9	7	7	5	1			1	
	医学部	80	78	97.5	0	0						
	工学部	昼間	562	560	99.6	26	26	11	1			14
		夜間主	82	65	79.3	2	2					2
	農学部	252	247	98.0	9	9	8				1	
	合 計	1,317	1,284	97.5	44	44	24	2			18	
医療技術短期大	学部	82	82	100.0	0	0						

⑦ 平成8年度外国人留学生定期健康診断受診状況（再掲）

学 部	在籍身分	在籍者数	休学者数	対象者数 人	受診者数 人	未受診者数	受診率%
教育学研究科	学 部 生	4		4	2	2	50.0
	大 学 院 生	2		2	2	0	100.0
	研 究 生	4		4	0	4	0.0
教育 学 部	特別聴講学生	2		2	0	2	0.0
	計	12	0	12	4	8	33.3
医学研究科	学 部 生	7		7	6	1	85.7
	大 学 院 生	32		32	22	10	68.8
	研 究 生	2		2	0	2	0.0
医 学 部	特別聴講学生	—					
	計	41	0	41	28	13	68.3
工学研究科	学 部 生	9		9	4	5	44.4
	大 学 院 生	34	1	33	22	11	66.7
	研 究 生	4		4	1	3	25.0
工 学 部	特別聴講学生	3		3	0	3	0.0
	計	50	1	49	27	22	55.1
農学研究科	学 部 生	—					
	大 学 院 生	17		17	17		100.0
	研 究 生	6		6	5	1	83.3
農 学 部	特別聴講学生	—					
	計	23	0	23	22	1	95.7
教 養 部	学 部 生	—					
	大 学 院 生	—					
	研 究 生	—					
	特別聴講学生	2		2	0	2	0.0
計	2	0	2	0	2	0.0	
連 合 農 学 研 究 科	大 学 院 生 (岐阜大学配置学生)	30	1	29	27	2	93.1
	研 究 生	1		1	1		100.0
	計	31	1	30	28	2	93.3
連 合 獸 医 学 研 究 科	大 学 院 生 (岐阜大学配置学生)	6		6	5	1	83.3
	研 究 生	—					
	計	6	0	6	5	1	83.3
合 計	学 部 生	20		20	12	8	60.0
	大 学 院 生	121	2	119	95	24	79.8
	研 究 生	17		17	7	10	41.2
	特別聴講学生	7		7	0	7	0.0
	計	165	2	163	114	49	69.9

※ 在籍者は、平成8年5月1日現在である。

(4) 平成8年度外国人留学生特別健康診断実施結果

1. 実施概要

外国人留学生特別健康診断は、春季の定期健康診断とは別に年1回実施している。平成4年度から開始し今回で5回目となった。

- ① 健診日時 平成8年11月18日（月）AM9：00～11：00
 平成8年11月21日（木）AM9：00～11：00
- ② 実施場所 保健管理センター
- ③ 対 象 岐阜大学に所属している外国人留学生全員（学部生・大学院生・研究生・聴講生・教員研修生など）。
 対象者数187名（平成8年10月1日現在の留学生在籍者数）
- ④ 周知方法 従来は、「留学生のつどい」として健診の説明会を設け受診勧奨を行っていた。しかし、説明会出席者しか理解を得られないので、7年度より留学生全員に周知できるように方法を変更した。
 対象者全員に個別通知による受診勧奨をした。その案内文は日本語に英語版と中国語版を付け、理解を得られるようにした。
 （配布は、8年度より留学生係に依頼した）
- ⑤ 健診内容 健診項目は、問診・血圧測定・尿検査・内科診察・胸部レントゲン直接撮影（春季に受検した者は除く）、などの一般健診項目に加え、血液検査を実施した。
 血液検査項目のうち、肝機能・腎機能・血清脂質・貧血検査・血糖検査など25項目は全員実施することとし、その他、HBs抗原・HCV抗体・HIV抗体・梅毒反応検査については、受診者のプライバシーを考慮して希望選択とした。
- ⑥ 事後指導 保健管理センター医師による判定結果にコメントをつけて個別に通知した。また、結果の説明と保健指導を該当者におこなった。

2. 実施結果

① 受診率について

今年度の受診率は、対象者（平成8年10月1日現在の在籍者）187名中、受診者は94名で50.3%だった。各年度の受診率を図1に示す。

従来の説明会に変えて、平成7年度より個別通知による周知方法へ変更した結果、受診率は少し向上した。

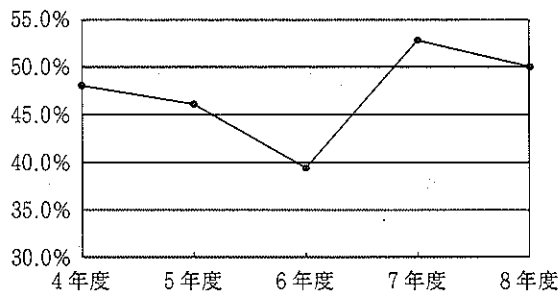


図1 受診率年次推移

② 受診状況について

受診者の内訳を在籍区分別にみると、大学院生が7割近いで研究生が2割を占めた。春の定期健診以降に来日した研究生の受診が昨年と同様に多かった。（図2）

また、在籍区分毎に受診率をみると研究生（78.6%）、大学院生（54.5%）が多く受診し、学部生（10.0%）や留学生センター日本語研修生（11.1%）の受診は少なかった。事前にとったアンケート調査では、日本語研修生については来日時に健康診断を受けているため希望しないという回答が多かった。

今回の受診者の年齢構成は、右図のように30～34歳が半数近い45.7%を占めた。（図3）

受診者の平均年齢は、男31.9歳・女31.0歳だった。（昨年は男32.4歳・女29.7歳）

今年度の受診者94名中昨年も受けている人は、半数以上の54名だった。留学生の一部に健康に関心が高いことがうかがえる

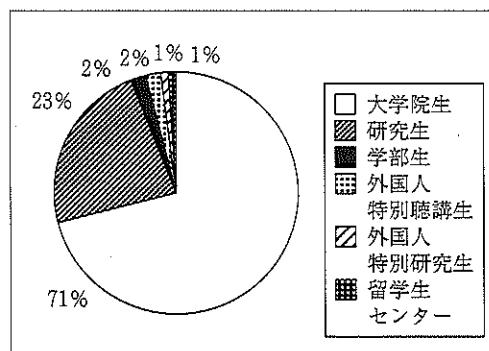


図2 受診者の在籍区分内訳

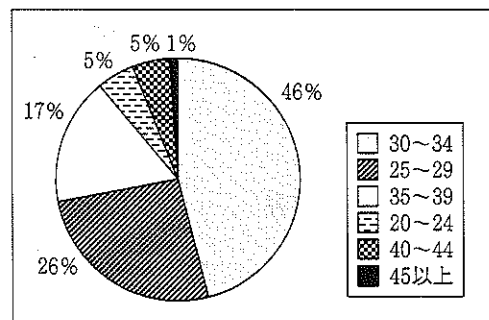


図3 年齢比率

③ 健診結果について

胸部レントゲンでは特に異常者はなかった。内科診察では、高血圧2名・腎結石1名がチェックされ、要観察となった。血液検査においては、35名（有所見率37.2%）に異常所見がみら

れた。これは、昨年の有所見者47名(有所見率51.1%)と比べて減少し、肝機能障害・高脂血症・貧血の異常所見率が低下していた。そのうち、高脂血症については食事未摂取で受検することを周知徹底したことが改善の一要因と考えられた。

一方、高アマラーゼ血症については、昨年の1.5倍の14名に異常所見がみられた。そのうちの13名は要観察で1名が精密検査を要した。精密検査の結果は、脂肪肝であり要観察と判定された。(再検査ではアマラーゼは正常範囲内であった) 14名の要観察者については、次年度の健診で経過をフォローする予定である。

留学生集団において、高アマラーゼ血症と高尿酸血症の有所見者が増加している問題については、今後さらに追跡したい。

血液検査結果有所見欄の「その他」の内訳は、多血症6名・HBs抗原陽性1名・梅毒検査陽性1名・低アルブミン1名だった。HIV検査については、39名受検し異常なかった。

再診察や再検査の結果、要観察者35名・要治療者1名(貧血)だった。

なお、健診項目については、平成7年度より現在の項目を必須項目として実施している。

④ 今後の留意点

今年度の要観察者は35名だったが、経過観察のためには次年度の健康診断をいかに確実に受診させるかが今後の課題になる。その対応として、センターでは健康診断の案内文の送付時に個別に受診を勧めてゆきたい。

〈平成8年度 外国人留学生特別健康診断実施結果 資料〉

① 所属別受診結果

表1

	在籍区分	対象者数	受診者数	受診率	有所見者数	再診察・再検査結果			再検査未受診
						放置可	要観察	要治療	
教育研究科 教育学部	学部生	4	1	33.3%					
	大学院生	2	2		1		1		
	研究生	4	2		1		1		
	外国人特別聴講生	4	0						
	教員研修留学生	1	0						
医学研究科 医学部	学部生	7	0	34.8%					
	大学院生	32	16		6		6		
	研究生	7	5		3		3		
工学研究科 工学部	学部生	9	1	46.2%					
	大学院生	34	16		10		8	1	1
	研究生	5	4						
	外国人特別聴講生	3	2						
	外国人特別研究生	1	1						
農学研究科 農学部	学部生	—	—	85.7%					
	大学院生	17	14		2		2		
	研究生	11	10		3		3		
連合農学研究科	大学院生	30	15	51.6%	10		10		
	研究生	1	1		1		1		
連合獣医学研究科	大学院生	6	3	50.0%	0				
留学生センター	日本語研修生	9	1	11.1%	0				
計		187	94	50.3%	37		35	1	1

*連合農学研究科・連合獣医学研究科の対象者数は、岐阜大学配置学生数である。

② 留学生健診と定期健診の受診状況

表2

(平成8年度)

留学生健診の受診		定期健診の受診		春の定期健診以降 に来日した学生数
		受診	未受診	
受診	94	62	21	11
未受診	*65	*34	*19	*12

・在籍留学生数は187名。表中の*には、医学部の在籍者は含まれていない。

③ 来日年数にみる有所見状況

表3

(平成7年度、8年度の受診者)

来日年数	A (異常なし)	B (要観察)			C (要精検)								
1年目	33	高尿酸血症	1	低コレステロール	8	高ビリルビン	1	高脂血症	1		肝機能	1	
		高脂血症	3	貧血	1	低ビリルビン	1						
						アミラーゼ	4						
						血圧	1						
2年目	29	高脂血症	1	低コレステロール	3	高LDH	1	高脂血症	1		肝機能	1	
				低脂肪	2	多血症	1						
				低アルブミン	1	アミラーゼ	3						
				貧血	1	血小板異常	1						
						HBs 陽性	1						
3年目	20	高脂血症	5	貧血	1	WBC異常	1	高脂血症	2	貧血	1	HBs陽性	2
		高尿酸血症	1	低コレステロール	1	肝機能	1				肝機能	3	
		高血糖	1			アミラーゼ	2						
						多血症	1						
4年目	10	高尿酸血症	2	貧血	1	肝機能	4	高脂血症	3		アミラーゼ	1	
		高脂血症	4	低コレステロール	1	血圧	1	高血糖	1		高LDH	1	
						多血症	1						
						アミラーゼ	2						
5年目	9	高脂血症	1	貧血	1	アミラーゼ	1	高脂血症	2		肝機能	3	
				低コレステロール	2	肝機能	1				HBs 陽性	1	
						TPHA	1						
6年目	4	高脂血症	2	貧血	1	TPHA	1						
				低コレステロール	1	アミラーゼ	1						
						肝機能	1						

*延べ数である

④ 年代別に見る有所見率の割合

表 4

(平成 7 年度～ 8 年度)

	所見なし	所見あり	合 計	有所見率(%)
20 歳 代	34	23	57	40.4
30 歳 代	63	55	118	46.6
40 歳 代	4	7	11	63.6
合 計	101	85	186	45.7

⑤ 血液検査の異常所見内訳 (医師の判定による)

表 5

(平成 4 年度～ 8 年度)

	平成 4 年度	平成 5 年度	平成 6 年度	平成 7 年度	平成 8 年度
高アミラーゼ血症	—	—	—	9	14
高 脂 血 症	4	10	9	19	12
肝 機 能 障 害	3	4	4	16	6
HBs 抗原陽性	3	1	1	3	1
高尿酸血症	—	—	—	3	3
貧 血	3	3	1	9	2
白血球異常	0	1	1	4	2
血小板数異常	0	0	1	2	2
そ の 他	0	3	2	5	10
合 計	13	22	19	61	52

⑥ 留学生健康診断実施項目

表 6

		基準値		平成8年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度	平成4年度	
血算式	WBC	4000~9000		○	○	○	○	○	
	RBC	男431~565	女378~497	○	○	○	○	○	
	Ht	男40.2~51.5	女33.6~44.6	○	○	○	○	○	
	Hb	男13.7~17.4	女11.3~14.9	○	○	○	○	○	
	MCV	男83.3~101.4	女80.2~100.7	○	○	○	○	○	
	MCH	男28.2~34.7	女26.4~34.3	○	○	○	○	○	
	MCHC	男31.8~36.4	女31.3~36.1	○	○	○	○	○	
	血小板	13.4~34.9		○	○	○			
	血液像						○		○
	生化学的検査	総蛋白	6.7~8.3		○	○	○	○	○
ALB		3.8~5.8		○	○				
A/G		1.1~1.8		○	○				
GOT		10~40		○	○	○	○	○	
GPT		4~50		○	○	○	○	○	
LDH		290~540		○	○	○	○	○	
ALP		110~350		○	○				
γ-GTP		男 80以下	女 30以下	○	○	○	○	○	
アミラーゼ		50~160		○	○				
クレアチニン		男 0.8~1.2	女 0.6~0.9	○	○	○	○	○	
尿酸	男 3.5~7.9	女 2.6~6.0	○	○					
尿検査	尿素窒素	8~20		○	○	○	○	○	
	中性脂肪	32~153		○	○	○	○	○	
	コレステロール	130~240		○	○	○	○	○	
	HDL-コレステロール	男 34~76	女 40~88	○	○	○			
	血清鉄	男 62~216	女 43~172	○	○	○		○	
	ビリルビン	0.2~1.2		○	○				
	CRP	(-)				○		○	
血清学的検査	梅毒 凝集法	(-)		*○	*○	*○	*○	○	
	梅毒 TPHA法	(-)		*○	*○	*○	*○	○	
	HBs抗原	(-)		*○	*○	*○	*○	○	
	HCV抗体	(-)		*○	*○	*○	*○	○	
	HIV抗体	(-)		*○	*○	*○	*○	○	
尿検査	蛋白	(-)		○	○	○	○	○	
	糖	(-)		○	○	○	○	○	
	潜血	(-)						○	
血圧測定	139以下/ 89以下		○	○	○	○	○		
心電図検査			◎	◎	◎	◎	◎		
胸部レントゲン			○	○	○	○	○		
その他					空腹時血糖 HbA1c HBe抗原・抗体 UGI ホルター心電図	UGI 空腹時血糖 血液像	UGI 全血比重 血液型		

(表1) 平成4年度の検査項目については、医師による問診にて決定したものである。

(表2) 表中の*は、本人の希望によって実施した項目である。

(表3) ◎の項目は、医師が必要とした者のみに実施した。

(表4) 胸部レントゲンは、春季定期健康診断未受検者と希望者のみに実施した。

(5) 健康管理カードⅠ・Ⅱによる平成8年度新入学生健康調査・個別面接

1. 実施概要

新入学生の健康調査・保健管理、特に精神健康管理について：

昭和42年度から新入学生全員を対象とした個別面接を、定期健康診断の一貫として、教育学部・教養部の心理学等担当教官、医学部・附属病院の精神医学等担当教官、医師の協力を得て実施してきたが、昭和53年度から実施方法・時期・要再面接の判定基準などを変更し、新入学生全員の健康状態の把握、精神不安定・不健康な者の早期発見、それらの早期の対処、さらに積極的に不健康の予防、人格的発達への寄与などを目的に、健康調査・個別面接として継続実施している。

要領：

入学式の当日、学生に配布し、記入させた健康管理カードⅠ・Ⅱ（参考資料参照）を保健管理センターへ本人に持参させ、提出時にそれらを資料として、1人4～5分程度の面接を行い、各人の心身の健康状態を調査し、集団生活・修学上の諸問題について適切な指導・助言を与え、さらに保健管理センターの組織・機能について説明し、同センターの利用を勧める。

面接・調査の結果、さらに詳しく診察・検査・面接を要すると判定された者については、早い時期（定期健康診断実施前から実施中）に事後措置・再調査を行う。

要再調査の判定基準：

健康管理カードⅡの自覚症状・既往歴及びUPIの60項目のうち16項目以上肯定したもの、25番の項目を肯定したもの、備考欄に相談したいとか、気になることの記載のあるもの及び面接時の印象などの総合判定による。

面接・調査は、保健管理センターの医師（精神科医・内科医）、学生相談室員（心理学）、保健婦・看護婦が担当する。

2. 実施結果

① 学部学生

	教育学部	医学部	工学部		農学部	合計
			昼間	夜間主		
入 学 生 数	343人	81人	565人	83人	253人	1,325人
調査・面接を受けた学生	340人	79人	557人	71人	247人	1,294人
調査・面接受検率	99.1%	97.5%	98.6%	85.5%	97.6%	97.7%
再調査となった学生数	15人(4)	5人(1)	9人(2)	3人(2)	15人(5)	47人(14)
再 調 査 率	4.4%	6.3%	1.6%	4.2%	6.1%	3.8%
再調査の実施数	7人(4)	2人(0)	3人(0)	2人(1)	8人(3)	22人(8)
再調査後面接数	1人	2人	0人	0人	2人	5人

② 工学部3年次編入生

	昼 間	夜 間 主	合 計
入 学 生 数	38人	9人	47人
調査・面接を受けた学生	36人	6人	42人
調査・面接受検率	94.7%	66.7%	89.3%
再調査となった学生数	4人(1)	0人	4人(1)
再 調 査 率	11.1%	0%	9.5%
再調査の実施数	3人(1)	—	3人(1)
再調査後面接数	0人	—	0人

③ 医療技術短期大学部学生

入 学 生 数	81人
調査・面接を受けた学生	81人
調査・面接受検率	100%
再調査となった学生数	3人(2)
再 調 査 率	3.7%
再調査の実施数	2人(1)
再調査後面接数	0人

* () の内数は、身体項目のみの学生の再掲数をあらわす。

〈参考資料〉

(裏面)

健康管理カードⅠ

8 岐阜大学

学年	8	学部・研究科		学科・専攻		学籍番号	
氏名		性別	男・女	連絡部名			

健康調査

I 次のような病気がかかったことがあれば、何才の時か記入してください。

1. 歯 痛	2. 気管支喘息	3. 心 臓 病	4. 腎 臓 病	5. 肝 臓 病	6. 貧 血	7. リウマチ	8. アレルギー	9. 小児マヒ	10. てんかん
11. ノイローゼ	12. 精神疾患	13. 糖尿病	14. その他						

II その病状は 1. 治った 2. 治療途中でやめた 3. 手術した(才) 4. 治療中 5. 経過観察中(才) 6. 病状

健康診断

検査項目	結果	検査項目	結果	検査項目	結果	検査項目	結果
身長 (cm)		視力		聴力		聴覚	
体重 (kg)		血圧		眼底		尿検査	
視力 (右)		尿検査		胸部X線		心電図	
視力 (左)		胸部X線		心電図		脳波	
血圧		心電図		脳波		脳脊液検査	
眼底		脳波		脳脊液検査		その他	
聴力		その他					
聴覚							
尿検査							
胸部X線							
心電図							
脳波							
脳脊液検査							
その他							

学年	8	学部・研究科		学科・専攻	
氏名		性別	男・女	連絡部名	

健康診断再検査

検査項目	結果	検査項目	結果	検査項目	結果	検査項目	結果
血圧測定		眼底		胸部X線		心電図	
尿検査		胸部X線		心電図		脳波	
胸部X線		心電図		脳波		脳脊液検査	
心電図		脳波		脳脊液検査		その他	
脳波		脳脊液検査		その他			
脳脊液検査		その他					
その他							

(裏面)

8

学年番号 [] 氏名 [] 学年 [] 性別 []

以下の項目について前半期によく記入で前半期中に [] を記入してください。
この調査結果は、あなたの健康状態の理解と増進の目的以外に使用したり他へ漏らしたりすることはありませんので安心してチェックしてください。

I あなたが最近1年次の間に時々感じたり、経験したりしたこと

1 食欲がない	16 不眠がちな	31 赤痢して困る	46 体がだるい
2 胸が痛い	17 頭痛がある	32 吐き気、嘔吐がある	47 気になると物音が気になる
3 肩こりや腰痛がひどい	18 肩こりや腰痛がある	33 肩凝りや腰痛がひどい	48 まよまよやちくちくする
4 寝付かぬ	19 寝つきが悪い	34 肩凝りや腰痛がひどい	49 気が充ちたり、ひきつたりする
5 つも体の調子がよい	20 いつも活発的である	35 気が充ちる	50 よく他人に好まれる
6 不平や不満が多い	21 気が小さくなる	36 他人となく不安である	51 こだわりすぎる
7 誰か理解しすぎる	22 気が荒れる	37 誰か理解しすぎる	52 くり高ししたくないと苦しい
8 自分の家の環境が気に入らない	23 思いやりがなくなる	38 思いやりがなくなる	53 気が荒れる
9 好きなことを心配しすぎる	24 おこりっぽい	39 好きなことを心配しすぎる	54 つまらぬ考えが取れない
10 人に会いたくない	25 死にたい	40 人に会いたくない	55 自分のへんな癖が気になる
11 自分が自分ではない感じがする	26 他人が面白くない	41 自分が自分ではない感じがする	56 他人に陰口をいわれる
12 やる気が出ない	27 自信力が低下している	42 気がまわらなくなる	57 周囲の人が気になって困る
13 怠惰になる	28 気が荒れる	43 つまらぬ考えが取れない	58 他人の視線が気になる
14 考えがまとまらない	29 気が荒れる	44 気がまわらなくなる	59 他人に相手にされない
15 気分が落ち込む	30 人に頼りすぎる	45 気がまわらなくなる	60 気が荒れる

II あなたが今までに経験したこと

1 病気のために休学や遅刻の期間があったことがある	11 現在心身ともに健康である
2 心配病や病気がありたいとわかったことがある	12 心配病以外の何らかの不安で悩んでいる
3 病気があって休学や遅刻の期間があったことがある	13 心配病以外の何らかの不安で悩んでいる
4 薬を服用後に悪化や発作が起きたり気分が悪くなったことがある (例) ノイローゼ、うつ病、統合失調症	14 薬を服用後に悪化や発作が起きたり気分が悪くなったことがある (例) ノイローゼ、うつ病、統合失調症

〈記入欄〉

この欄には記入しないでください

8

健康管理カードⅡ

記載年月 平成 8 年 月

出身高校	出身大学	学部	学科
現住所 (〒) (TEL)	父住所 (〒) (TEL)	家族	兄弟
家族	兄弟		

●健康管理カードⅠ・Ⅱの提出は、下記日時までに本人自身が持参し保健管理センターへ提出してください。
【この健康管理カードⅡは電算機処理しますので折り返しありません。】

教育学部 4月9日(火)、10日(水)、11日(木)、12日(金) 9時から16時の間
医学部 4月9日(火)、10日(水)、11日(木)、12日(金) 9時から16時の間
工学部 4月9日(火)、10日(水)、11日(木)、12日(金) 9時から16時の間
農学部 4月12日(金) 17時から18時の間

●薬品記入要領

○記入に際しては、次の文字列を必ず記入してください。
○C R 文字
○該当しない箇所は空欄にしてください。
○学籍番号欄(裏面)は学生証に付してある番号を正確に記入してください。

(6) 入学志願者の健康診断

1. 岐阜大学入学者選抜時の健康診断実施要領

本学の入学者選抜に係る健康診断は、下記により実施する。

記

1. 各学部は、調査書又は健康診断書について審査のうえ、健康状況の確認が必要と認められる志願者について一覧表を作成し、同人の調査書又は健康診断書の写しを付して保健管理センターに提出する。
2. 保健管理センターは、前記1により提出された資料に基づき、必要に応じて専門医及び出身学校等の意見を聞いた上で、志願者の健康状況を各学部へ通知する。
3. 健康状況の通知内容は、調査書及び健康診断書の記載事項の内容並びに調査事項について記入するほか、入学後の修学面での配慮及び医療の必要性等についても付記するものとする。
4. 各学部は、健康管理センターから通知のあった健康状況の結果を、合否判定の参考資料とする。

付 記

この取扱いについては、平成9年度入学者選抜から実施する。

2. 平成9年度入学志願者（前・後期日程）に係る健康状況の確認について

		確認 依頼	高校等への問い合わせ				小計	書類審査				精密 検査	備 考	
			内科	視力	聴力	その他		就学に 支障なし	要精密 検査	入学後の 健康管理	小計			
教育学部	前期	11					0	4	0	7	11	0		
	後期	4					0	1	0	3	4	0		
地域科学部	前期													
	後期	1					0		0	1	1	0	私費外国人1（入学後の健康管理）	
医学部	前期	17		3			3	17	0		17	0		
	後期	8		3			3	8	0		8	0		
工学部	昼間	前期	16		12			12	12	0	4	16	0	
		後期	3		2			2	2	0	1	3	0	
	夜間主	前期	3		3			3	3	0		3	0	
		後期	3		3			3	3	0		3	0	
農学部	前期	30	1	7	1	2	11	23	0	7	30	0		
	後期	7		2			2	5	0	2	7	0		
合計	前期	77	1	25	1	2	29	59	0	18	77	0		
	後期	26	0	10	0	0	10	19	0	7	26	0		

2. 職員の健康管理

(1) 平成8年度職員健康診断実施計画

区分	対 象 者 (対象者概数)	検 査 項 目 等	実 施 期 日	
			柳 戸 地 区	司 地 区
一 般 定 期 健 康 診 断	職 員 全 員 (1,500)	身体測定(身長、体重、視力、聴力) 内科診察 胸部エックス線間接撮影 血圧測定 尿検査(蛋白、糖)	5月28日・29日 (流域環境研究センター)5月23日 (附属演習林) 6月25日 (附属学校) 7月29日	6月4日・5日 (医短)4月17日
	35歳及び40歳以上 (880)	肝機能検査 血清総コレステロール検査 中性脂肪検査 貧血検査	7月9日～11日 (附属学校の一般 定期健康診断の以下 の項目は7月29日 日に実施する。)	5月16日・17日
	40歳以上 (850)	便潜血反応検査	7月9日～11日	7月16日～18日
	35歳及び40歳以上 (880)	心電図検査	9月17日・18日	9月12日・13日
	40歳以上 (850)	胃の検査	1月27日・28日	6月24日～26日
	45歳以上で喫煙指数が600以上の者	喀痰細胞診	7月9日～11日	7月16日～18日
	再 検 査 及 び 精 検 者	赤沈、尿検査、血圧測定、心電図、貧血検査、血糖検査、胸部エックス線直接撮影、内科診察	6月3日～21日 (直接撮影は 6月14日)	6月14日 (医短)4月19日
特 別 定 期 健 康 診 断	放 射 線 取 扱 者 (450)	皮膚の検査、問診(3月毎) 血液の検査(6月毎)	4月22日・23日 10月28日・29日	5月16日・17日 11月21日・22日
	病原体汚染業務従事者 (900)	自覚症状等の検査 病原体による疾病に特有な症状の検査 病原体の検査	7月9日～11日 1月20日・21日	5月16日・17日 11月21日・22日
	特定有害物質取扱者 (60)	自覚症状等の検査 口腔及び皮膚の検査 血液の検査、尿検査 肺臓の検査、肺活量の検査等	7月9日～11日 1月20日・21日	5月16日・17日 11月21日・22日
	理 学 療 法 士 (2)	自覚症状等の検査、皮膚の検査 上肢・頸部及び背部の機能検査	—	12月16日～20日
	夜 勤 者 (260)	自覚症状等の検査 血圧測定、尿検査	—	12月16日～20日
	給 食 等 関 係 者 (32)	伝染病の検査(毎月)	中 旬	中 旬
		寄生虫の検査(6月毎)	4月・10月中旬	4月・10月中旬
		自覚症状等の検査、皮膚の検査 腰部の機能検査	1月20日・21日 (附属学校)12月24日	12月17日
	自 動 車 運 転 手 (2)	自覚症状等の検査、眼の検査 聴器の検査、平衡機能の検査 胃腸の検査、血圧測定 上肢・頸部及び腰部の機能検査	1月20日・21日	12月17日
	チェンソー等取扱者 (3)	自覚症状等の検査、筋力の検査 血圧測定、末梢循環機能検査 末梢神経機能検査	12月20日	
臨 時 健 康 診 断	V D T 作 業 従 事 者 (45)	自覚症状等の検査、眼の検査 上肢・頸部及び背部の機能検査 問診	1月20日・21日	12月16日～20日

(2) 平成8年度職員一般定期健康診断実施結果

検査項目 部 局	胸部X線間接撮影					胸部X線直接撮影					血 圧 測 定					尿 検 査				心 電 図 検 査					
	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数
事務局・学生部 地域共同研究センター 保健管理センター ほか	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人
	142	40	40	28							142	43	43	30		142	44	44	31		104	15	15	14	3
教 育 学 部	188	63	63	34							188	68	76	36		188	60	62	32	2	128	15	15	12	5
地 域 科 学 部	51	8	8	16							51	9	9	18		51	9	9	18		32	2	2	6	
医 学 部	165	97	97	59		1	1	1	100		165	102	102	62	1	165	97	97	59	2	153	12	12	8	
医学部附属病院	540	330	330	61		2	1	1	100		540	323	323	60		540	327	327	61		196	11	11	6	100
工 学 部	253	59	59	23							253	60	67	24	7	253	58	63	23	5	167	13	13	8	4
農 学 部 大学院連合農学研究科 同 獣医学研究科	152	50	50	33							152	50	50	33		152	50	50	33		109	9	9	8	
附 属 図 書 館	19	10	10	53							19	11	11	58	1	19	13	13	68		15	0	0	0	
医療技術短期大学部	31	12	12	39							31	17	17	55		31	16	16	52		23	2	2	9	
計	1,541	669	669	43		3	3	3	100		1,541	683	698	44	9	1,541	674	681	44	9	927	79	79	9	12
上記「計」に人間ドックの受診者を加えた人数	1,541	1,055	—	68	—	—	—	—	—	—	1,541	1,069	—	69	—	1,541	1,060	—	69	—	927	465	—	50	—

注：下段数字は、希望者数で外数である。

血清総コレステロール検査					中性脂肪検査				貧血検査				胃の検査				肝臓機能検査				便潜血反応検査				喀痰細胞診検査									
対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数					
104	121	121	100	3	104	121	121	100	1	104	121	121	100	1	104	51	51	100	5	104	121	121	100	1	104	91	91	100	9	104	43	33	75	75
128	175	175	100	13	128	175	175	100	13	128	175	175	100	13	120	92	92	100	8	128	175	175	100	13	120	111	111	100	9	11	44	44	100	36
32	55	55	100	3	32	55	55	100	3	32	55	55	100	3	32	41	41	100	13	32	55	55	100	3	32	11	11	100	3	2	00	00	0	0
153	146	146	95	3	153	146	146	95	3	153	146	146	95	2	143	88	88	100	6	153	146	146	95	3	143	71	71	100	5	13	42	42	100	31
196	157	157	80	10	196	157	157	80	10	196	157	157	80	7	184	202	202	100	11	196	157	157	80	10	1	184	62	62	3	11	22	22	100	18
167	37	45	22	8	167	37	50	22	13	167	37	38	22	1	160	51	51	100	3	167	37	40	22	3	160	61	61	100	4	13	33	33	100	23
109	99	99	100	8	109	99	99	100	8	109	99	99	100	8	104	149	14	13	13	109	99	99	100	8	104	77	77	100	7	9	22	22	100	22
15	42	42	100	27	15	42	42	100	27	15	42	42	100	27	15	00	00	0	0	15	42	42	100	27	15	11	11	100	7	1	00	00	0	0
23	20	20	87	5	23	20	20	87	5	23	20	20	87	5	22	15	15	100	5	23	20	20	87	5	22	00	00	0	0	2	00	00	0	0
927	403	411	43	24	927	403	416	43	21	927	403	404	43	10	884	66	66	7	1	927	403	406	43	7	884	48	48	5	7	66	18	18	27	100
397	397	398	100	1	397	397	397	100	2	397	397	398	100	1	884	452	452	100	51	927	789	789	100	85	884	434	434	100	49	66	66	66	100	100
927	789	-	85	-	927	789	-	85	-	927	789	-	85	-	884	452	-	51	-	927	789	-	85	-	884	434	-	49	-	66	66	-	100	-

(3) 平成8年度職員特別定期健康診断実施結果

検査項目 部局	有害薬品(1号)					紫外線(2号)					病原体(4号)					チェンソー(5号)					放射線		
	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員
事務局・学生部 地域共同研究センター 保健管理センター ほか	1	1	2	100							7	4	8	57							2	2	8
教育学部	8	2	4	25																	4	4	16
地域科学部																							
医学部	4	4	8	100						260	210	314	60	1							51	51	204
医学部附属病院	13	13	25	96						483	449	891	92	2							126	126	504
工学部	23	23	23	50																	24	24	96
農学部 大学院連合農学研究科 同 獣医学研究科	14	10	10	34	2					3	3	5	83		4	4	4	50			34	28	92
附属図書館																							
医療技術短期大学部										15	13	13	43										
計	63	53	72	57	2					768	679	1,231	80	3	4	4	4	50			241	235	920
																					241	205	400

注：放射線の上段数字は、問診及び皮膚の検査、下段数字は血液の検査を示す。

調理配膳の上段数字は、伝染病の検査、下段数字は寄生虫・皮膚及び腰部の機能検査を示す。

(2号)		理学療法士(4号)					深夜作業(6号)				自動車運転手(7号)				調理配膳(8号)				VDT作業従事者						
受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	経過観察実施数				
%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人				
100 100													1	1	2	100					5	2	2	40	
100 100																	3	3	36	100					
1																									
100 82													1	1	1	50	18	18	216	100		22	22	22	100
100 89		2	0	0	0		287	280	280	49												11	11	11	100
100 63	2																					1	0	0	0
68 74																	2	2	24	100					
																						11	11	11	100
95 83	2	2	0	0	0		287	280	280	49		2	2	3	75	23	23	276	100		50	46	46	92	

(4) 平成8年度放射線取扱者特別健康診断結果(学生・職員)

4月実施

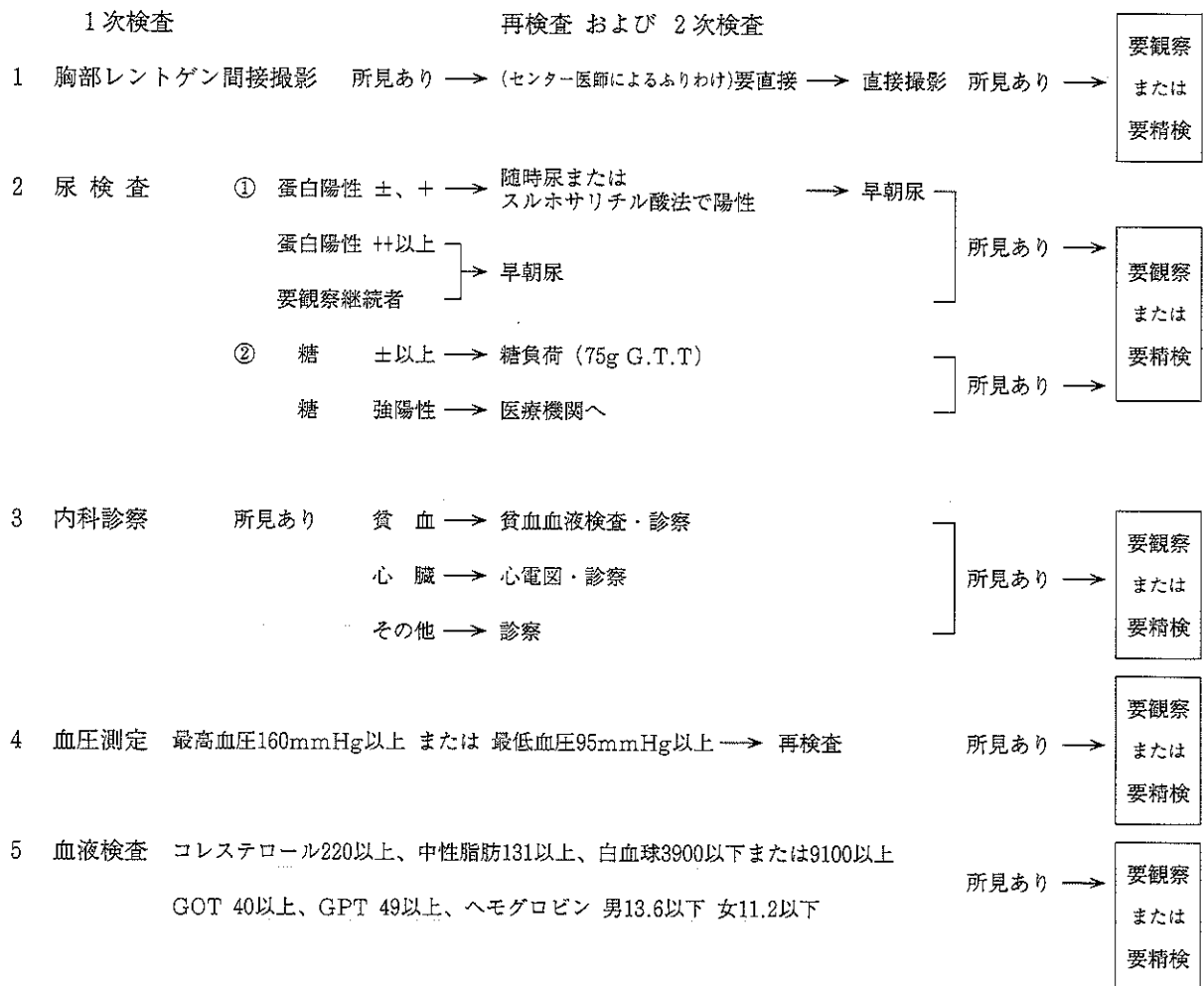
		受診者数	再 外 留 学 掲 人 生	再検者数	再 検 査 結 果		
					異常なし	要 観 察	未 受 検
学 部 生	教 育 学 部	2					
	工 学 部	64		3		3	
	農 学 部	76		2		2	
	小 計	142		5		5	
大 学 院 生	教育学研究科	3					
	工学研究科	48	2				
	農学研究科	49	6				
	連合農学研究科	7	2				
	連合獣医学研究科	6	1				
	小 計	113	11				
研 究 生 等		6	2				
学 生 合 計		261	13	5		1	
職 員		56		1		1	
そ の 他 (研 究 者)		1					
総 計		318	13	6		6	

10月実施

		受診者数	再 外 留 学 掲 人 生	再検者数	再 検 査 結 果		
					異常なし	要 観 察	未 受 検
学 部 生	教 育 学 部	2					
	工 学 部	64	1	2		2	
	農 学 部	86	2	2		2	
	小 計	152	3	4		4	
大 学 院 生	教育学研究科	4		1		1	
	工学研究科	42		1		1	
	農学研究科	51	5	1		1	
	連合農学研究科	7	2				
	連合獣医学研究科	6					
	小 計	109	7	3		3	
研 究 生 等		4					
学 生 合 計		265		7		7	
職 員		57		2		2	
そ の 他 (研 究 者)							
総 計		322	10	9		9	

〈参考〉

職員の定期健康診断フォロー体制



*治療中のものは、経過把握し要観察とする。

3. 平成8年度保健管理センター利用状況（学生・職員等）

利用者数

	学 生				医 短			
	学 部	大 学 院	医 短	研 究 生 等	医 短	研 究 生 等	医 短	研 究 生 等
内 科 的 処 置	1,345	68	326	30	15	2	55	3
外 科 的 処 置	418	17	65	5	0	0	3	0
整 形 外 科 的 処 置	207	19	27	3	0	0	14	2
眼 科 的 処 置	34	15	3	2	0	0	2	0
耳 鼻 科 的 処 置	18	4	6	0	1	0	2	0
皮 膚 科 的 処 置	108	14	31	3	0	0	8	1
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置	26	6	14	2	0	0	2	1
精 神 神 経 科 的 処 置	282	2	33	1	76	0	0	0
泌 尿 器 科 的 処 置	30	9	4	3	1	0	1	1
婦 人 科 的 処 置	93	5	4	1	1	0	1	0
そ の 他	1,684	1	414	0	13	0	48	0
合 計	4,245	160	927	50	107	2	136	8

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 的 相 談	721	115	8	18
精 神 的 相 談	35	3	1	0
そ の 他 の 相 談	3	2	0	0
小 計	759	120	9	18

B 救急処置

創 部 処 置	430	71	0	5
湿 布	220	18	0	9
投 薬	1,163	265	0	65
ベ ッ ド 休 養	107	5	0	0
そ の 他	17	0	0	1
小 計	1,937	359	0	80

C 検査、診察

尿 検 査	259	45	13	4
血 圧 測 定	92	32	3	2
心 電 図 検 査	41	7	0	2
血 液 検 査	37	30	8	7
診 察	1,160	290	84	62
そ の 他	673	159	1	25
小 計	2,262	563	109	102

D その他

救 急 薬 品 貸 出	87	1	2	6
証 明 書 発 行	2,888	730	158	62
紹 介 状 発 行	128	42	2	7
そ の 他	15	4	0	2
小 計	3,118	777	162	77

A+B+C+D延べ件数	8,076	1,819	280	277
再掲健康診断事後措置	353	61	14	4

健康診断実施数	5,171	918	237	77
新入生健康調査	1,316		81	
健康教育	322			

計		職 員		そ の 他		合 計		再掲 外国人留学生	
1,741	103	1,033	38	14	1	2,788	142	212	20
486	22	120	5	2	0	608	27	16	4
248	24	198	2	0	0	446	26	23	2
39	17	33	0	0	0	72	17	4	2
27	4	30	0	1	0	58	4	7	0
147	18	110	3	2	0	259	21	23	2
42	9	29	1	2	1	73	11	11	2
391	3	22	2	8	0	421	5	1	0
36	13	2	1	0	0	38	14	1	1
99	6	7	0	1	0	107	6	2	1
2,159	1	30	0	1	0	2,190	1	77	0
5,415	220	1,614	52	31	2	7,060	274	377	34

862	507	6	1,375	75
39	3	5	47	0
5	1		6	1
906	511	11	1,428	76

506	75	3	584	17
247	33	1	281	20
1,493	1,270	14	2,777	190
112	13	4	129	0
18	8	0	26	1
2,376	1,399	22	3,797	228

321	116	1	438	27
129	159	3	291	27
50	6	0	56	3
82	26	0	108	23
1,596	538	18	2,152	192
858	224	3	1,085	93
3,036	1,069	25	4,130	365

96	6	0	102	0
3,838	26	1	3,865	90
179	50	2	231	30
21	1	0	22	5
4,134	83	3	4,220	125

10,452	3,062	61	13,575	794
432	57	0	489	8

6,403	723	0	7,126	231
1,397				

月別保健管理センター利用状況（学部生）

利用者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
内 科 的 処 置	137	7	259	21	290	19	82	5	8	2	74	2
外 科 的 処 置	30	1	51	2	79	1	28	1	3		39	3
整 形 外 科 的 処 置	29	2	47	2	30	1	12	2	4		16	2
眼 科 的 処 置	6	1	5	2	5	1	3	2			2	1
耳 鼻 科 的 処 置	5	1	2		3	1	2				2	1
皮 膚 科 的 処 置	8	3	3	1	8	2	16		6	1	18	1
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置	4		4	2			1				5	2
精 神 神 經 科 的 処 置	12	1	17		20		17		2		21	1
泌 尿 器 科 的 処 置			2		21	6	4	2			2	1
婦 人 科 的 処 置	8		13	1	17		12	2	2		10	1
そ の 他	7		377		247		223		362		96	1
合 計	246	16	780	31	720	31	400	14	387	3	285	16

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 的 相 談	74	132	195	69	12	38
精 神 的 相 談	1	1	4	3		2
そ の 他 の 相 談						1
小 計	75	133	199	72	12	41

B 救急処置

創 部 処 置	28	48	78	31	6	45
湿 布	33	47	32	16	4	16
投 薬	143	163	128	67	10	92
ベ ッ ド 休 養	10	23	19	15	1	5
そ の 他	4	2	4	1		1
小 計	218	283	261	130	21	159

C 検査、診察

尿 検 査	9	78	130	16		4
血 圧 測 定	4	11	34	11		7
心 電 図 検 査	4	6	18	6		1
血 液 検 査		6	11	8	1	2
診 察	97	143	168	81	6	86
そ の 他	82	91	62	32	6	47
小 計	196	335	423	154	13	147

D その他

救 急 薬 品 貸 出	2	6	14	13	8	6
証 明 書 発 行	6	925	572	403	452	137
紹 介 状 発 行	17	31	31	14	3	10
そ の 他	2	3	3			3
小 計	27	965	620	430	463	156

A+B+C+D延べ件数	516	1,716	1,503	786	509	503
再掲健康診断事後措置	17	89	195	36		10

健 康 診 断 実 施 数	5,171					
新 入 生 健 康 調 査	1,316					
健 康 教 育				126		

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
86	3	101		129	1	73	2	79	4	27	2	1,345	68
55	3	47	2	23	1	26	3	22		15	1	418	17
15	3	19		11	1	11	1	11	5	2		207	19
3	3	2	1	1		1	1	3	1	3	2	34	15
1	1	1				1				1		18	4
7		21	2	9	3	5	1	3		4		108	14
2	1	1		4		4		1	1			26	6
37		17		※ 93		6		※ 32		8		※ 282	2
1												30	9
6		12		4		3		3	1	3		93	5
72		39		106		37		76		42		1,684	1
285	14	260	5	※ 380	6	167	7	※ 230	12	105	5	※ 4,245	160

※内、85は診断書発行にかかわる精神科医の面接数

※内、32は診断書発行にかかわる精神科医の面接数

※内、115は診断書発行にかかわる精神科医の面接数

49	67	25	27	20	13	721
18	3	1		1	1	35
	2					3
67	72	26	27	21	14	759

48	55	23	26	25	17	430
20	19	13	9	11		220
98	126	141	80	75	40	1,163
8	8	5	6	5	2	107
1		2		2		17
175	208	184	121	118	59	1,937

10	3	2	3	3	1	259
11	5	1	4	3	1	92
1	2	3				41
3	3		1	2		37
88	94	※ 209	64	※ 90	34	※ 1,160
54	69	105	49	55	21	673
167	176	※ 320	121	※ 153	57	※ 2,262

12	4	6	5	4	7	87
85	45	105	37	71	50	2,888
5	11	3		1	2	128
2	1	1				15
104	61	115	42	76	59	3,118

513	517	645	311	368	189	8,076
5	1	0				353

	152	2				5,323
			196			322

月別保健管理センター利用状況（大学院生）

利用者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
内 科 的 処 置	23	2	50	7	24	2	16		10	1	32	2
外 科 的 処 置	1	1	4		11		14		4		10	
整 形 外 科 的 処 置	3		2	1	4		1		2		3	1
眼 科 的 処 置			1	1			1				1	1
耳 鼻 科 的 処 置			2		2				1		1	
皮 膚 科 的 処 置	3		2		7		1				1	1
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置	2						2		1		1	1
精 神 神 経 科 的 処 置	7	1	2		1		1		1		1	
泌 尿 器 科 的 処 置	1	1	1	1	2	1						
婦 人 科 的 処 置					1		1					
そ の 他	10		157		59		52		32		15	
合 計	50	5	221	10	111	3	89	0	51	1	65	6

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 的 相 談	5	25	13	12	3	12
精 神 的 相 談	2					
そ の 他 の 相 談					1	
小 計	7	25	13	12	4	12

B 救急処置

創 部 処 置		4	11	14	4	10
湿 布	2	1	2		2	4
投 薬	23	21	22	18	11	17
ベ ッ ド 休 養			1			1
そ の 他						
小 計	25	26	36	32	17	32

C 検査、診察

尿 検 査	1	16	7	2		1
血 圧 測 定	2	2	2	1		11
心 電 図 検 査		3	2		1	
血 液 検 査	2	9	2			1
診 察	29	38	23	12	8	22
そ の 他	15	14	6	10	7	12
小 計	49	82	42	25	16	47

D その他

救 急 薬 品 貸 出					1	
証 明 書 発 行	10	320	126	85	37	22
紹 介 状 発 行	5	10	3		1	3
そ の 他						1
小 計	15	330	129	85	39	26

A+B+C+D延べ件数	96	463	220	154	76	117
再掲健康診断事後措置	4	26	11	2	2	3

健康診断実施数	843					
---------	-----	--	--	--	--	--

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
25	26	36	36	18	30	326
3	8	5	2	1	2	65
3	4	1	2	2		27
						3
						6
5	5	2	1	3	1	31
4	1		1	1	1	14
1	3	4	1	6	5	33
						4
	1	1				4
12	10	20	16	18	13	414
53	58	69	59	49	52	927

10	15	8	4	3	5	115
		1				3
					1	2
10	15	9	4	3	6	120

7	9	5	2	3	2	71
2	1	1	1	2		18
32	27	18	24	21	31	265
1		1	1			5
						0
42	37	25	28	26	33	359

	1	7	9		1	45
1	5	3	4	1		32
			1			7
	1	8	6		1	30
28	15	35	28	22	30	290
20	7	14	20	13	21	159
49	29	67	68	36	53	563

						1
16	20	24	19	31	20	730
	3	10	5	1	1	42
		1	1	1		4
16	23	35	25	33	21	777

117	104	136	125		113	1,819
	4	8	1			61

109	66					918
-----	----	--	--	--	--	-----

月別保健管理センター利用状況（医療技術短期大学部）

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科的処置	4	6	3	2	1	
外科的処置						
整形外科的処置						
眼科的処置						
耳鼻科的処置	1					
皮膚科的処置						
歯科口腔外科的処置						
精神神経科的処置			1			
泌尿器科的処置			1			
婦人科的処置						
その他		2		2	3	
合計	5	8	5	3	3	0

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身体的相談	1	4	1	1		
精神的相談			1			
その他の相談						
小計	1	4	2	1	0	0

B 救急処置

創部処置						
湿布						
投薬						
ベッド休養						
その他						
小計	0	0	0	0	0	0

C 検査、診察

尿検査	4	4	3	1		
血圧測定		2	1			
心電図検査						
血液検査	3		3	1		
診察	3	1	4			
その他	1					
小計	11	7	11	2	0	0

D その他

救急薬品貸出						
証明書発行		2		2	7	
紹介状発行			2			
その他						
小計	0	2	2	2	7	0

A+B+C+D延べ件数	12	13	15	5	7	0
再掲健康診断事後措置	4	4	4	1		

健康診断実施数	237					
新入生健康調査	81					

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
						15 2
						0 0
						0 0
						0 0
						1 0
						0 0
						0 0
					※ 75	※ 76 0
						1 0
1						1 0
3		1	1		1	13 0
4 0	0 0	2 0	1 0	0 0	※ 76 0	※ 107 2

※内、75は診断書発行にかかわる精神科医の面接数

1						8
						1
						0
1	0	0	0	0	0	9

						0
						0
						0
						0
						0
0	0	0	0	0	0	0

		1				13
						3
						0
		1				8
		1			※ 75	※ 84
						1
0	0	3	0	0	※ 75	※ 109

1		1				2
2			1		144	158
						2
						0
3	0	1	1	0	144	162

4	0	4	1	0	1	62
		1				14

						237
--	--	--	--	--	--	-----

月別保健管理センター利用状況（研究生等）

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科的処置	3	3	2	3	3	4
外科的処置				1		
整形外科的処置	1 1	2	2 1		3	1
眼科的処置					1	1
耳鼻科的処置					1	
皮膚科的処置				1	1	
歯科口腔外科的処置						
精神神経科的処置						
泌尿器科的処置						
婦人科的処置	1					
その他	1	3	4	7	8	4
合計	6 1	8 0	8 1	12 0	17 0	10 0

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身体的相談	1	1	2	1		2
精神的相談						
その他の相談						
小計	1	1	2	1	0	2

B 救急処置

創部処置				1	2	
湿布	1	1	1		1	1
投薬	4	4	3	3	6	4
ベッド休養						
その他						1
小計	5	5	4	4	9	6

C 検査、診察

尿検査						
血圧測定		1				
心電図検査						
血液検査						
診察	3	3	4	3	4	5
その他	3	1	1		1	4
小計	6	5	5	3	5	9

D その他

救急薬品貸出						
証明書発行	1	6	9	8	13	13
紹介状発行	1		1			
その他						
小計	2	6	10	8	13	13

A+B+C+D延べ件数	14	17	21	16	29	28
再掲健康診断事後措置	0	0	0	0	0	0

健康診断実施数	47					
新入生健康調査						

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
4	3	12	6	7	5	55
1		1	2		1	3
1			1	2	1	14
						2
					1	2
1	2	1	1	1	1	8
			1	1	1	2
						0
	1	1				1
						1
3	2	5	3	7	1	48
10	8	17	12	17	11	136

2	1	3	1	1	3	18
						0
						0
2	1	3	1	1	3	18

1					1	5
1	1		1	1		9
6	5	5	5	11	9	65
						0
						1
8	6	5	6	12	10	80

1		2	1			4
			1			2
			1		1	2
		1	6			7
6	6	10	2	10	6	62
2	1	4		5	3	25
9	7	17	11	15	10	102

				6		6
3	1	2	3	2	1	62
	1	2	2			7
		2				2
3	2	6	5	8	1	77

22	16	31	23	36	24	277
		3	1			4

4	26					77
---	----	--	--	--	--	----

月別保健管理センター利用状況（職員）

利用者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
内 科 的 処 置	55		73		87	2	96	14	65	8	78	
外 科 的 処 置	17	1	3		9		13		16	1	6	
整 形 外 科 的 処 置	17		13		12		19	1	13		13	
眼 科 的 処 置	1				1		3				3	
耳 鼻 科 的 処 置	2		4		3		3		1		1	
皮 膚 科 的 処 置	11		8		10		16		11	1	11	
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置	7				2	1	3		4		2	
精 神 神 経 科 的 処 置			1		5	1	2	1	2		1	
泌 尿 器 科 的 処 置	1	1										
婦 人 科 的 処 置			1		1		1		1			
そ の 他			2				2		3		3	
合 計	111	2	105	0	130	4	158	16	116	10	118	0

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 的 相 談	30	35	56	61	43	46
精 神 的 相 談			1		1	
そ の 他 の 相 談					1	
小 計	30	35	57	61	45	46

B 救急処置

創 部 処 置	10	4	5	14	12	2
湿 布	5	4	3	7	2	3
投 薬	94	90	94	98	68	84
ベ ッ ド 休 養		1	4	3	2	
そ の 他	1	2	1	1		
小 計	110	101	107	123	84	89

C 検査、診察

尿 検 査	4	8	18	10	12	13
血 圧 測 定	6	8	19	9	15	14
心 電 図 検 査					2	1
血 液 検 査	1		7	5	2	6
診 察	42	34	45	54	29	41
そ の 他	10	22	13	4	3	14
小 計	63	72	102	82	63	89

D その他

救 急 薬 品 貸 出						1
証 明 書 発 行		2			3	1
紹 介 状 発 行	2		4	19	9	
そ の 他			1			
小 計	2	2	5	19	12	2

A+B+C+D延べ件数	205	210	271	285	204	226
再掲健康診断事後措置	4	2	21	22	7	

健康診断実施数	324		4	207		69
---------	-----	--	---	-----	--	----

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
90	2	90	3	97	1	98	3	88	2	116		1,033	38
8		10		18	2	5		8	1	7		120	5
20		24		18	1	13		13		23		198	2
3				3		4		4		11		33	0
		1		2		2		3		8		30	0
7		9		8		5	1	4	1	10		110	3
1		3		2		1		1		3		29	1
1		1		1		2		4		2		22	2
						0		1				2	1
						1		2				7	0
4		2		5		2		1		6		30	0
134	2	140	3	154	4	133	4	129	4	186	3	1,614	52

47	38	36	38	26	51	507
					1	3
						1
47	38	36	38	26	52	511

4	3	13		5	3	75
2	1	2		1	3	33
106	124	130	117	107	158	1,270
			1	2		13
		1	1	1		8
112	128	146	119	116	164	1,399

10	6	6	8	11	10	116
17	14	12	12	17	16	159
	1		0		2	6
2			1	1	1	26
50	47	53	51	50	42	538
21	27	29	38	25	18	224
100	95	100	110	104	89	1,069

1	1	3				6
4	1	3	2	4	6	26
2	2	2	1	4	5	50
						1
7	4	8	3	8	11	83

266	265	290	270	254	316	3,062
1	1			3		57

59			60			723
----	--	--	----	--	--	-----

月別保健管理センター利用状況（その他）

利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
内 科 的 処 置	1	1		1		
外 科 的 処 置						
整 形 外 科 的 処 置						
眼 科 的 処 置						
耳 鼻 科 的 処 置					1	
皮 膚 科 的 処 置			1		1	
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置						
精 神 神 経 科 的 処 置			1	1	1	
泌 尿 器 科 的 処 置						
婦 人 科 的 処 置				1		
そ の 他	1					
合 計	2	1	0	0	2	0

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 的 相 談				2	1	
精 神 的 相 談				1	1	
そ の 他 の 相 談						
小 計	0	0	0	3	2	0

B 救急処置

創 部 処 置					1	
湿 布					1	
投 薬			2	2		
ベ ッ ド 休 養				2		
そ の 他						
小 計	0	0	2	4	2	0

C 検査、診察

尿 検 査	1					
血 圧 測 定	1		1			
心 電 図 検 査						
血 液 検 査						
診 察			2	1	1	
そ の 他						
小 計	2	0	3	1	1	0

D その他

救 急 薬 品 貸 出						
証 明 書 発 行	1					
紹 介 状 発 行	1					
そ の 他						
小 計	2	0	0	0	0	0

A+B+C+D延べ件数	4	0	5	8	5	0
再掲健康診断事後措置						

健康診断実施数						
---------	--	--	--	--	--	--

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
	2		7	3		14
	1			1		2
						0
						0
						1
				2	1	2
2			1	2		8
						0
						1
						1
2	0	3	0	8	1	0
						0
						31
						2

	1			2		6
1			1	1		5
						0
1	1	0	1	3	0	11

	1			1		3
						1
	2		7	1		14
				2		4
						0
0	3	0	7	4	0	22

				1		1
						3
						0
						0
1	2		7	4		18
	2			1		3
1	4	0	7	6	0	25

						0
						1
				1		2
						0
0	0	0	0	1	0	3

2	8	0	15	14	1	61
						0

						0
--	--	--	--	--	--	---

月別保健管理センター利用状況（再掲 外国人留学生）

利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
内 科 的 処 置	11	24 1	14	8	3	28 2
外 科 的 処 置			3	4		1
整 形 外 科 的 処 置	2 1	3 1	2	1	2	2
眼 科 的 処 置		1 1		1		2 1
耳 鼻 科 的 処 置		2	2		1	1
皮 膚 科 的 処 置	2	1	6	2		1 1
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置	1			1	1	1 1
精 神 神 経 科 的 処 置						
泌 尿 器 科 的 処 置						
婦 人 科 的 処 置	1					
そ の 他		2	2		19	10
合 計	17 1	33 3	29 2	17 0	26 0	46 5

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 的 相 談	1	12	9	5	3	9
精 神 的 相 談						
そ の 他 の 相 談					1	
小 計	1	12	9	5	4	9

B 救急処置

創 部 処 置			2	4	2	1
湿 布	2	1	1	1	2	2
投 薬	14	21	19	11	12	13
ベ ッ ド 休 養						
そ の 他						1
小 計	16	22	22	16	16	17

C 検査、診察

尿 検 査		2	2	1		1
血 圧 測 定	1	1	2			10
心 電 図 検 査			1			
血 液 検 査	1	4	1			
診 察	12	21	8	9	7	16
そ の 他	9	12	3	2	5	9
小 計	23	40	17	12	12	36

D その他

救 急 薬 品 貸 出						
証 明 書 発 行		2	2	8	18	
紹 介 状 発 行	1	3	2			3
そ の 他						1
小 計	2	5	4	8	18	4

A+B+C+D延べ件数	41	79	52	41	50	66
再掲健康診断事後措置		6	2	0		

健康診断実施数	127					
---------	-----	--	--	--	--	--

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
14		22		38	9	27	7	18		5		212	20
2		4	2			1	1			1		16	4
2		3		1		2		2		1		23	2
												4	2
										1		7	0
1		4	1	2		2		1		1		23	2
3		1				1	1	1		1		11	2
								1				1	0
		1	1									1	1
		1	1									2	1
8		7		21		5		1		2		77	0
30	0	43	5	62	9	38	9	24	0	12	0	377	34

5	12	9	5	2	3	75
						0
						1
5	12	9	5	2	3	76

3	4				1	17
1	1	6	2	1		20
20	24	9	15	23	9	190
						0
						1
24	29	15	17	24	10	228

1	1	8	8	3		27
1	5	3	4			27
			1		1	3
	1	9	7			23
16	22	32	23	20	6	192
9	8	9	12	12	3	93
27	27	61	55	35	10	365

						0
11	6	17	13	11	2	90
	4	10	7			30
		3	1			5
11	10	30	21	11	2	125

2	8	0	15	14	1	61
						0

10	94					231
----	----	--	--	--	--	-----

Ⅱ 研究・報告・調査

1. UPI 簡略化の試み

○×選抜方式より自発記入方式への切り替え

岐阜大学保健管理センター 吉村 剛 栗本 良子 丹羽美穂子
古澤 洋子 本多 恭子 *橘 良治
渡辺 郁雄 *貝谷 久宣 ****西田 弘之

*岐阜大学教育学部学校心理学教室 **朝日大学健康管理センター
岐阜薬科大学 *岐阜薬科大学保健体育学研究室

I. はじめに

我々は毎年新しく入学してくる学生の精神健康状態についての情報の入手を主として入学時面接にたよっている。またその際、UPI を組み込んだ岐阜大学独自の調査アンケートを学生諸君にあらかじめ記入してもらい当日持参してもらうようにしている。スクリーニング調査の目的は学生の精神健康の維持および問題を抱える学生の早期発見と個々の学生に応じた対策をたてることであるが、全員面接の実施には同時に保健管理センターの存在を広く学生に認識してもらう効果があり、より多くの学生がみずから気軽に相談しにくるという、いわばセンターのPR効果があることも見逃せない役割として指摘されている¹⁾。

しかし現実には少数の面接者がこの2つの主要目的のために限られた期間内にきわめて多数の入学生と面接するので、面接者は反復面接による疲労蓄積により集中力や効率の維持が次第に困難になりうる。そこでより簡明なスクリーニングテスト方法の開発が望まれるが、われわれは1994年度よりUPIの項目回答方法を従来の該当、非該当のいずれかを選択する方式（以下○×方式）から、学生が自覚する項目のみをチェックする方式に切り替ると、より効率的に問題点を把握しうるという感触が得られた²⁾。そこでチェック方式の変更による差異を検討することによりUPIにおいてどちらの方式を採用したほうがスクリーニング本来の目的に適合しているか検討を試みた。なお後者の方式をわれわれはUPI自発記入方式（以下自発記入式）と表現することにした。

Ⅱ. 調査方法

表1に示したように過去6年間の岐阜大学入学生のUPI資料を中心に両方式について統計学的検討を試みた。なお自発記入式については県下2大学の協力を得て入手したデータを参考資料にした。

表 1

○×方式				UPI：自発記入方式			
1991年－1993年度岐阜大学入学時UPI提出学生				総 数	男子数	女子数	
自発記入方式				94GU	1377	828	549
1994年－1996年度岐阜大学入学時UPI提出学生				95GU	1389	858	531
参考資料				96GU	1317	804	513
1996年度岐阜県、A 大学入学時 UPI 提出学生				計	4083	2654	1593
1996年度岐阜県、Y 大学入学時 UPI 提出学生				参考資料（他大学）			
UPI：○×方式				総 数	男子数	女子数	
	総 数	男子数	女子数	96AU	923	767	156
91GU	1291	913	378	96GY	126	63	63
92GU	1326	872	454	計	1049	830	219
93GU	1403	869	534				
計	4020	2654	1366				

Ⅲ. 調査結果と考察

表 2 は両群の基礎統計データを示す。方式の変化による得点の差異はあきらかであり、○×方式では平均得点（1項目にたいする陽性回答を1点とする）がおよそ9.6点であるが、自発記入方式では5.3点へと低下した。最大値はいずれの方式でも40点以上を示し、あまり方式の差異に影響されない結果を示した。得点分布を図1、2で示す。両方式の分布の差異は明白であり、○×方式は従来から報告されているUPI特有の度数分布³⁾⁴⁾を示したが自発記入方式ではより低得点に変移した度数分布が示され、またグループ内における年度による変動はきわめて小さいことがわかり、本学学生は毎年集団としては同じようなUPI反応を示す傾向がみられた。たとえば累積肯定率から全体の5%以下に含まれる多愁訴的な学生群を抽出する場合○×方式では24点、自発記入方式では16点がカットオフポイントであることがわかり、後者の方式により少ない得点で効率的に多愁訴的な少数集団をスクリーニングしうることが明らかになった。

表 3 はUPI項目と各年度のチェック実数を示す。各年度のサンプル数はそれほど変動はないのであえて肯定率で示さなかった。第5列に属するLie 4項目群は自発記入方式ではいずれも50%以下の減退を示し、特に(50)肯定率は著しく低下した。いっぽう1－4列に分布する身体愁訴群(16項目)の減退は比較的少なかった。第10－11列に属する項目群(重要項目)のうち項目(10)(11)(25)では方式の差異はみられず、われわれが真に必要とする情報はそれほど減退しないようであった。すなわちこれら比較的深刻な質問項目にも学生は割合素直に反応することが示された。

図 3 は項目減退を列別に立体図として示したものである。第5列のLie群が陽性情報量の低下とし

表 2 UPI (1991-1996年度岐阜大学入学生) : 基礎統計資料

記入方式 入 学 生	UPI : ○×方式				UPI : 自発記入方式			
	91年度	92年度	93年度	91-93年度	94年度	95年度	96年度	94-96年度
UPI 提出数	1291	1326	1403	4020	1377	1389	1317	4083
同男子数	913	872	869	2654	828	858	804	2490
同女子数	378	454	534	1366	549	531	513	1593
入学生数	1324	1409	1427	4160	1417	1418	1404	4239
同男子数	943	912	891	2746	860	880	864	2604
同女子数	381	497	536	1414	557	538	540	1635
UPI 提出率 (%)	97.5	94.1	98.3	96.6	97.2	98.0	93.8	96.3
同男子率 (%)	96.8	95.6	97.5	96.7	96.3	97.5	93.1	95.6
同女子率 (%)	99.2	91.3	99.6	96.6	98.6	98.7	95.0	97.4
陽性回答項目数	12695	12570	13362	38627	7205	7687	6851	21743
同男子数	8866	8220	8106	25192	4271	4588	4034	12893
同女子数	3829	4350	5256	13435	2934	3099	2817	8850
同平均値	9.83	9.48	9.52	9.61	5.23	5.53	5.20	5.33
同男子値	9.71	9.43	9.33	9.49	4.97	5.35	5.02	5.18
同女子値	10.13	9.58	9.88	9.84	5.34	5.84	5.49	5.56
同標準偏差値	6.97	6.76	6.96	6.90	5.23	5.41	5.05	5.23
同男子値	6.97	6.91	6.92	6.93	5.25	5.16	4.94	5.12
同女子値	6.97	6.46	7.03	6.82	5.20	5.78	5.22	5.40
同中間値	8	8	8	8	4	4	4	4
同男子値	8	8	7	8	4	4	4	4
同女子値	8	8	8	8	4	4	4	4
同最大値	42	44	45	45	47	41	40	47
同男子値	42	44	35	44	47	32	40	47
同女子値	37	37	45	45	34	41	28	41

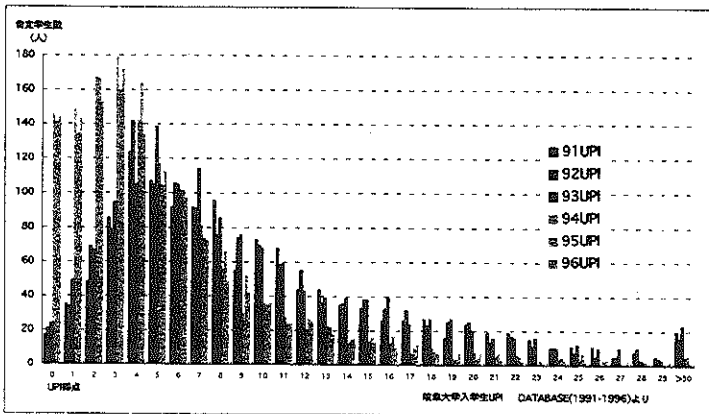


図 1 UPI (1991-1996年度入学生) : 項目再点分布

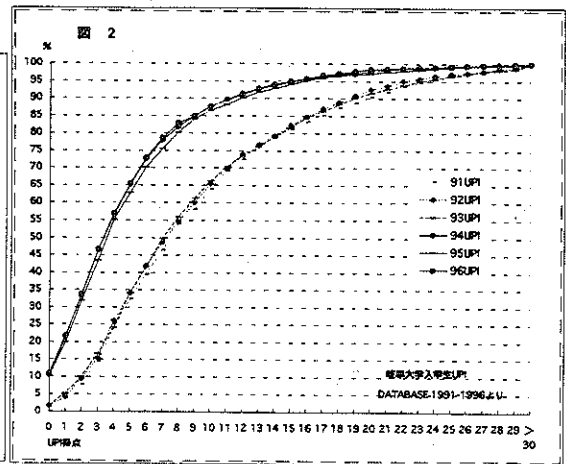


図 2 UPI (1991-1996年度入学生) : 累積肯定率 (%)

て谷間であらわされている。

図 4 は男女学生の項目差異を示す。自発記入式によっても従来報告されているようなUPIにおける男女学生の項目選択特性は保たれていることが認められた。

図 5 はUPIにみられる本学学生の学部別平均得点を立体図になるように変換したものであるが両方式とも同様の傾向 (医学部では一般項目得点が相対的に低く Lie 得点が比較的高い、工学部および農

表 3 ○× ('91-93年度) と自発記入式 ('94-96年度) の比較 :

岐阜大学入学生におけるUPI項目別肯定数

番号	U01	U02	U03	U04	U05	U06	U07	U08	U09	U10	U11	U12	U13	U14	U15
項目内容	食欲がない	吐気、胸やけ、腹痛がある	わけもなく便座や下痢をしやすい	動きや脈が気になる	いつも体の調子が良い	不平や不満が多い	親が期待しすぎる	自分の過去や家庭は不幸である	将来のことを心苦しめる	人に会いたくない	自分が自分でない感じがする	やる気が出てこない	悲観的になる	考えがまとまらない	気分が波がありすぎる
91GU	33	86	150	35	735	181	94	50	156	34	43	126	202	296	351
92GU	29	84	178	43	724	185	96	39	129	17	49	122	192	257	317
93GU	27	83	182	34	759	181	100	48	163	41	49	148	231	287	355
94GU	75	137	166	39	248	109	47	29	105	30	46	144	151	151	250
95GU	113	147	179	45	251	122	49	35	101	38	42	186	166	165	269
96GU	81	99	134	30	269	110	41	28	88	33	53	155	132	156	220

番号	U16	U17	U18	U19	U20	U21	U22	U23	U24	U25	U26	U27	U28	U29	U30
項目内容	不眠がちである	頭痛がする	飲んだり食べたりがこる	物が縮んだ感じがする	いつも活動的である	気が小さすぎる	気疲れする	いらいらしやうい	怒りっぽい	死にたくなる	内事も生きている感じがしない	記憶力が低下している	根拠が確かない	決断力がない	人にたよりすぎる
91GU	87	121	361	65	482	274	352	297	229	12	58	216	359	507	336
92GU	89	130	408	70	478	241	345	270	230	13	39	228	347	499	301
93GU	93	128	431	79	478	271	333	301	233	21	68	233	399	531	346
94GU	66	100	328	61	172	163	222	180	133	19	35	167	221	373	185
95GU	112	128	355	66	157	202	224	225	147	16	40	169	238	331	190
96GU	74	89	308	59	172	152	235	187	129	22	33	153	197	322	171

番号	U31	U32	U33	U34	U35	U36	U37	U38	U39	U40	U41	U42	U43	U44	U45
項目内容	赤面して困る	吃ったり、声があるえたりする	体がぼてたりする	排尿や性器のことが気になる	気分が明るい	なんとなく不安である	独りでのちろちろかかない	ものごと自信をもてない	何事もためらいがちである	他人にわたくとられやすい	他人が信じられない	気をまわしすぎる	つきあいが嫌である	ひげ目を感じる	取り越し苦労をする
91GU	225	66	118	56	690	393	110	313	400	86	51	316	97	219	312
92GU	221	87	110	40	734	424	125	337	407	102	41	337	69	192	306
93GU	249	62	128	52	739	424	135	357	401	108	43	364	94	215	361
94GU	169	40	66	23	186	249	61	211	212	28	21	168	62	120	160
95GU	162	27	62	32	183	242	70	207	208	52	26	163	79	130	153
96GU	154	32	56	38	197	244	68	196	200	33	24	147	77	94	143

番号	U46	U47	U48	U49	U50	U51	U52	U53	U54	U55	U56	U57	U58	U59	U60
項目内容	体がだるい	気になると冷や汗が出やすい	めまいや立ちくらみがする	気を失ったり、ひきつけたりする	よく他人に好かれる	こだわりすぎる	くり返し確かめないと苦しい	汚れが苦になって困る	つまらぬ考えが取れない	自分の変な匂いが気になる	他人に除けを言われる	周囲の人が気になって困る	他人の視線が気になる	他人に相手にされない	気持ちが高つけられやすい
91GU	138	102	424	4	426	333	237	108	198	56	32	211	404	18	214
92GU	135	100	398	5	425	327	268	84	226	50	42	216	404	24	204
93GU	125	87	418	4	386	336	300	100	225	65	46	253	411	22	219
94GU	88	50	205	1	50	142	131	30	108	24	12	121	222	6	67
95GU	138	64	231	1	66	142	133	33	110	22	10	125	212	13	83
96GU	96	57	187	3	43	140	125	23	87	17	6	123	220	9	81

学部はその反対で教育学部が中間的傾向を示すが認められた。すなわち方式を変更しても男女差異や学部学科の集団としての特性の相違などに関しては以前の調査結果との整合性がかなり保たれることが示された。

表4は両群の因子分析結果を示す。因子分析では○×方式では毎年度ほぼ同様の安定した結果が得られたが自発記入方式では不安定であり、それは項目肯定情報の低下によるものではないかと推定されるが詳細は不明で今後さらに検討の余地がある。

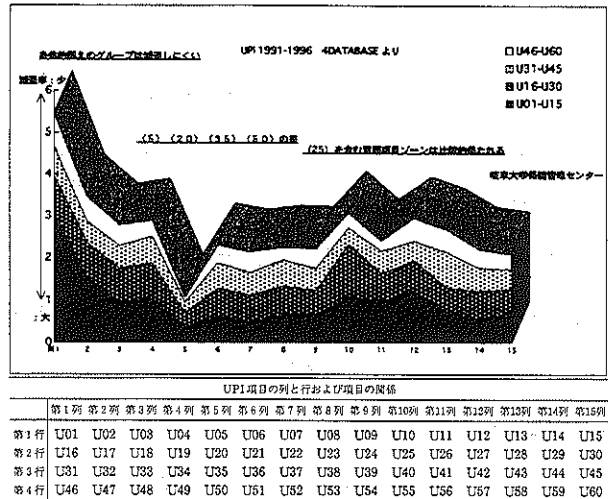


図3 UPIO×方式 vs 自発記入方式 自発的減退地形図

III 結 論

1) 自発記入方式では平均得点は明らかに減少するが、項目により相違がみられ特に Lie 項目で著し

UPI 項目肯定における男女差異 (Chi sq. 検定にて $p < 0.05$ 以下を採用)

自発記入式: 岐阜大学 '94-96年度入学生 (n=4083, m=2490, f=1593)

U01	U02	U03	U04	U05	U06	U07	U08	U09	U10	U11	U12	U13	U14	U15
U16	U17	U18	U19	U20	U21	U22	U23	U24	U25	U26	U27	U28	U29	U30
U31	U32	U33	U34	U35	U36	U37	U38	U39	U40	U41	U42	U43	U44	U45
U46	U47	U48	U49	U50	U51	U52	U53	U54	U55	U56	U57	U58	U59	U60

同: '96年度 Y大学入学生 (n=123, m=63, f=63)

U01	U02	U03	U04	U05	U06	U07	U08	U09	U10	U11	U12	U13	U14	U15
U16	U17	U18	U19	U20	U21	U22	U23	U24	U25	U26	U27	U28	U29	U30
U31	U32	U33	U34	U35	U36	U37	U38	U39	U40	U41	U42	U43	U44	U45
U46	U47	U48	U49	U50	U51	U52	U53	U54	U55	U56	U57	U58	U59	U60

同: '96年度 A大学入学生 (n=923, m=767, f=156)

U01	U02	U03	U04	U05	U06	U07	U08	U09	U10	U11	U12	U13	U14	U15
U16	U17	U18	U19	U20	U21	U22	U23	U24	U25	U26	U27	U28	U29	U30
U31	U32	U33	U34	U35	U36	U37	U38	U39	U40	U41	U42	U43	U44	U45
U46	U47	U48	U49	U50	U51	U52	U53	U54	U55	U56	U57	U58	U59	U60

○×方式: 岐阜大学 '91-93年度入学生 (n=4020, m=2654, f=1366)

U01	U02	U03	U04	U05	U06	U07	U08	U09	U10	U11	U12	U13	U14	U15
U16	U17	U18	U19	U20	U21	U22	U23	U24	U25	U26	U27	U28	U29	U30
U31	U32	U33	U34	U35	U36	U37	U38	U39	U40	U41	U42	U43	U44	U45
U46	U47	U48	U49	U50	U51	U52	U53	U54	U55	U56	U57	U58	U59	U60

同: 大阪大学資料より改編 (奥田ら 1992年)¹⁾

U01	U02	U03	U04	U05	U06	U07	U08	U09	U10	U11	U12	U13	U14	U15
U16	U17	U18	U19	U20	U21	U22	U23	U24	U25	U26	U27	U28	U29	U30
U31	U32	U33	U34	U35	U36	U37	U38	U39	U40	U41	U42	U43	U44	U45
U46	U47	U48	U49	U50	U51	U52	U53	U54	U55	U56	U57	U58	U59	U60

同: 図書館情報大学資料より改編 (上月ら 1993年)²⁾

U01	U02	U03	U04	U05	U06	U07	U08	U09	U10	U11	U12	U13	U14	U15
U16	U17	U18	U19	U20	U21	U22	U23	U24	U25	U26	U27	U28	U29	U30
U31	U32	U33	U34	U35	U36	U37	U38	U39	U40	U41	U42	U43	U44	U45
U46	U47	U48	U49	U50	U51	U52	U53	U54	U55	U56	U57	U58	U59	U60

女子に多い項目: Uxx 男子に多い項目: Uxx 差異なし項目: Uxx

図 4

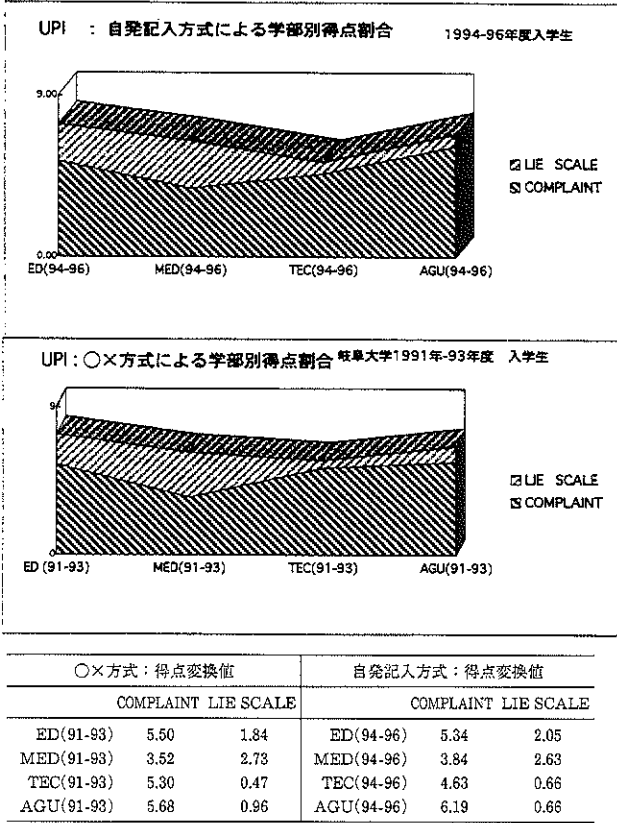


図 5

い傾向が明らかになった。他方身体的愁訴の項目群は比較的減少しない傾向がみられ、重要項目 (10) (11) (25) も減退せずスクリーニングとして必要な情報は比較的よく保たれることが示された。

2) 面接者は平均5つ程度の項目をチェックすることになり従来方式より学生がかかえる悩みを絞って尋ねることが可能になった。その結果面接効率が良くなり必要に応じて限られた時間を有効に継続面接へのインタビューに割り当てることが可能になった。

3) 自発記入方式に切り替えても項目別男女の反応差異、学部、学科による得点差異は保たれているので従来の資料との整合性も高く、学生の精神健康資料としてセンターから学部教官あるいは教務厚生委員など各関係者に継続的な情報を発信しうることが可能であることが示された。

4) その他、乱雑記入の減少、○×が複雑に交錯しなくなったので判読がさらに容易になったこと、択一を強制せず項目の選択を学生の恣意にゆだねることにより学生がなにか特別な心理テストを受けさせられているというような陰性感情を軽減させる効果がありうると実際行ってみて感じられたことも強調したい。

以上よりUPI自発記入は従来の○×方式より実用的で簡便なスクリーニング方式であると我々は

表 4

UPI ○×方式 : 主成分と関連が大きい項目 (GU'91-93)			UPI 自発記入式 : 主成分と関連が大きい項目 (GU'94-96)		
91GU	92GU	93GU	94UPI	95UPI	96UPI
第1主成分			第1主成分		
U29 決断力- 0.6602	U29 決断力- 0.6772	U29 決断力- 0.7128	U42 気をま- 0.4996	U29 決断力- 0.6483	U29 決断力- 0.6020
U30 人にた- 0.5784	U30 人にた- 0.5961	U30 人にた- 0.5938	U22 気疲れ- 0.4623	U39 何事も- 0.5579	U39 何事も- 0.5604
U39 何事も- 0.5599	U39 何事も- 0.5768	U39 何事も- 0.5822	U51 こだわ- 0.4421	U21 気が小- 0.4508	U30 人にた- 0.5206
U38 ものご- 0.5561	U38 ものご- 0.5542	U38 ものご- 0.5681	U45 取り越- 0.4196	U30 人にた- 0.4473	U38 ものご- 0.4676
U21 気が小- 0.4810	U21 気が小- 0.4375	U14 考えが- 0.4503	U54 つまら- 0.3967	U38 ものご- 0.4361	U21 気が小- 0.4242
U14 考えが- 0.4566	U14 考えが- 0.4232	U21 気が小- 0.4025	U13 悲観的- 0.3602	U14 考えが- 0.3721	U14 考えが- 0.4057
U36 なんと- 0.4483	U36 なんと- 0.3239	U36 なんと- 0.3428	U21 気が小- 0.3399	U36 なんと- 0.3532	
U28 根気が- 0.3052	U28 根気が- 0.3098		U09 将来の- 0.3275	U44 ひげ目- 0.3319	
第2主成分			第2主成分		
U42 気をま- 0.6922	U45 取り越- 0.5818	U45 取り越- 0.5805	U29 決断力- 0.7011	U57 周囲の- 0.5389	U10 人に会- 0.6711
U45 取り越- 0.5440	U42 気をま- 0.4995	U42 気をま- 0.5704	U30 人にた- 0.4834	U60 気持ち- 0.4720	U43 つきあ- 0.5179
U22 気疲れ- 0.4837	U51 こだわ- 0.4614	U22 気疲れ- 0.5513	U38 ものご- 0.4192	U58 他人の- 0.4616	U26 何事も- 0.4035
U51 こだわ- 0.3948	U13 悲観的- 0.4232	U51 こだわ- 0.3787	U39 何事も- 0.3990	U22 気疲れ- 0.4112	U25 死にた- 0.3921
	U22 気疲れ- 0.4191	U60 気持ち- 0.3453	U21 気が小- 0.3702	U13 悲観的- 0.4055	U41 他人が- 0.3403
	U54 つまら- 0.3723	U13 悲観的- 0.3237	U14 考えが- 0.3356	U44 ひげ目- 0.4049	
	U60 気持ち- 0.3581	U54 つまら- 0.3062		U42 気をま- 0.3739	
	U52 くり返- 0.3520			U36 なんと- 0.3065	
	U44 ひげ目- 0.3409				
第3主成分			第3主成分		
U35 気分が- 0.8688	U35 気分が- 0.6930	U35 気分が- 0.7145	U23 いらい- 0.6222	U02 吐気、- 0.6029	U23 いらい- 0.6545
U20 いつも- 0.6863	U20 いつも- 0.6790	U20 いつも- 0.6645	U24 怒りっ- 0.5137	U01 食欲が- 0.4911	U24 怒りっ- 0.6091
U50 よく他- 0.5984	U50 よく他- 0.5619	U50 よく他- 0.5697	U06 不平や- 0.4534	U46 体がだ- 0.4805	U06 不平や- 0.4089
U05 いつも- 0.4729	U05 いつも- 0.4043	U05 いつも- 0.4097	U15 気分- 0.3733	U17 頭痛が- 0.3671	U15 気分- 0.3098
				U48 めまい- 0.3534	
第4主成分			第4主成分		
U23 いらい- 0.7261	U23 いらい- 0.7023	U23 いらい- 0.7544	U40 他人に- 0.6476	U23 いらい- 0.6682	U42 気をま- 0.1515
U24 怒りっ- 0.6343	U24 怒りっ- 0.6667	U24 怒りっ- 0.6480	U56 他人に- 0.5934	U24 怒りっ- 0.5561	U44 ひげ目- 0.4110
U06 不平や- 0.3913	U06 不平や- 0.4043	U06 不平や- 0.3704	U41 他人が- 0.3685	U06 不平や- 0.4276	U22 気疲れ- 0.4087
	U15 気分- 0.3478	U15 気分- 0.3337		U15 気分- 0.3126	
第5主成分			第5主成分		
U57 周囲の- 0.5956	U46 体がだ- 0.4286	U12 やる気- 0.5253	U35 気分が- 0.6581	U41 他人が- 0.5162	U35 気分が- 0.6346
U58 他人の- 0.5403	U48 めまい- 0.4098	U26 何事も- 0.4601	U20 いつも- 0.6298	U10 人に会- 0.5178	U20 いつも- 0.5733
	U17 頭痛が- 0.3980	U11 自分が- 0.3774	U05 いつも- 0.5210	U26 何事も- 0.4596	U05 いつも- 0.4797
	U18 頭すじ- 0.3592			U43 つきあ- 0.4548	
	U19 胸が痛- 0.3298				
	U02 吐気、- 0.3074				
第6主成分			第6主成分		
U46 体がだ- 0.5073	U25 死にた- 0.5434	U10 人に会- 0.6740	U26 何事も- 0.5506	U35 気分が- 0.6634	U59 他人に- 0.6758
U18 頭すじ- 0.4458	U26 何事も- 0.4987	U43 つきあ- 0.5953	U12 やる気- 0.4723	U20 いつも- 0.6532	U40 他人に- 0.6179
U17 頭痛が- 0.3917	U41 他人が- 0.4583	U41 他人が- 0.3823		U05 いつも- 0.4662	
	U11 自分が- 0.3587			U50 よく他- 0.3923	
	U10 人に会- 0.3081				

数値は各主成分の固有ベクトルを示し絶対数値の降順に配列した。
 ○×方式：F6までの累積寄与率はおよそ71%だった。
 自己記入方式：F6までの累積寄与率はおよそ65%だった。

判断し今後さらに資料を蓄積し詳細を検討する予定である。

文 献

- 1) 上里一郎：スクリーニングの功罪はなにか。第15回全国大学保健管理研究会報告書，88-99，1997。
- 2) 吉村剛 他：UPI簡略化の試み。第17回全国大学メンタルヘルス研究会報告書，55-60，1996。
- 3) 奥田純一郎 他：教養部新入生に対するUPI調査。大阪大学保健センター年報，11：12，121-129，1992。
- 4) 磯田雄二郎：UPIの再検討-スクリーニング・テストとしての-。第5回大学精神衛生研究会報告書，140-147，1985。
- 5) 上月英樹 他：図書館情報大学における10年間のUPI検査結果について。第31回全国大学健康管理研究会報告書，281-285，1993。

〈第34回全国大学保健管理研究集会（1996.11）にて発表〉

2. UPI 項目 (25) チェック学生についての検討

岐阜大学保健管理センター 吉村 剛, 栗本 良子
丹羽 美穂子, 古澤 洋子
本多 恭子, 橘 良治

I 目 的

入学時の心理面接でUPI項目25番(死にたくなる)をチェックする学生(25群)のグループ特性を分析し、同群学生のメンタルヘルスの実態を把握し、この群の自殺希望要因を減少させる方向へ働きかける場合の参考情報資料にする。

II 方 法

1991年—1996年度本学入学時UPI受検者を調査母集団($n=8103$: $m=5144$, $f=2959$)として、その中から項目25チェック学生をもれなく抽出した(25群; $n=103$, $m=53$, $f=50$)。同時に母集団における25群の片寄りを想定して、より適正な比較のため入学年度、年齢、性、学部、学科をマッチさせたコントロール群を母集団より無作為抽出した(CL群; $n=103$, $m=53$, $f=50$)。この両群について、UPI得点、項目反応特性の差異、項目の多変量解析をおこなった。また両群につき入学時点での環境情報(両親、同胞、祖父母、下宿率)、身体情報(身長、体重、BMI)を比較検討した。また学業中断情報として、本学休退学資料により、振り返り調査(1996年12月1日より1991年4月時点)をおこない、退学群:139名($m=104$, $f=35$)休学群(休学して退学したケースは退学群に含めた。また複数休学の場合は実数1にした):154名を抽出した($m=118$, $f=36$)。そして25群およびCL群がこれにどの程度関与するか調査した。またこれらの比較調査とは別に25群については2次面接記録情報を調査し、個別的な実態調査をおこなった。

III 結 果

- 1) 25群は女子学生に有意に多い($p<0.01$)。このことは伊藤¹⁾の報告に一致していた。
- 2) 男子25群のUPI得点は同女子より高く、Lie項目得点は低かった。従って男子群のほうがチェック率は低いもののチェックした場合には女子より訴えがやや深刻である可能性が示唆された(項目9, 12, 14, 16, 30, 39, 52, 54, 58で25群男子>25群女子、項目35は25群男子<25群女子 いずれも $p<0.05$)。
- 3) UPI平均得点は25群(19.8 ± 9.9)で母集団(7.5 ± 6.1)およびCL集団(7.3 ± 5.9)より高く、際立って多愁訴的で過敏なUPI反応が示された。
- 4) 25群の多愁訴傾向は(Lie項目以外の)各項目別にみても25群はCL群より有意にチェックする

傾向よりあきらかになった。

- 5) しかし各群のUPI 因子分析では25群は第1主成分は非特異的な不全感、不安、劣等意識が表現され、CL群および母集団との際立った差異を見出すのは困難だった。したがって25群は通常の入学生が示す青年期心性や入学による新たなストレス状況による一般的な不安やとまどいを全体的により強く表現しやすい素因をもつグループであると推定された。
- 6) 両群の上述した環境情報調査では25群家庭はCL群より祖父母（特に祖母；18vs32）を含む率が有意に低い傾向がみられ、やや家族構成人員が少ない傾向（4.5vs4.8）があった。
- 7) 身長、体重データでは特に25群に特異な情報は得られず、一般大学生の傾向と同様に女子における全体的やせ傾向、男子の一部における肥満傾向が目についた。
- 8) 調査期間中の退学生は25群4名、CL群では0名だったが有意差を決定するためにはさらに調査期間を延長する必要があるようだった。また25群の退学率は母集団の退学率より高いようにみえるが（3.9%vs1.7%）統計的有意差はみられず、やはりさらに調査期間を延長して経過を追う必要があるようだった。なお退学生のUPI得点は 9.27 ± 7.4 であり若干母集団（ 7.5 ± 6.1 ）より高い傾向はあるものの25群よりはるかに少ない陽性反応を示した。退学生を除外した休学生（1回以上）は母集団では154名だった（男子104名、女子35名 男子>女子 $p < 0.01$ ）。25群には該当学生は含まれず、CL群には4名が該当した。25群の場合は一旦休学すると退学につながりやすく、CL群では復学しやすい傾向があるようにみえるが、統計的根拠を得るためにはやはりさらに調査期間を延長して経過を追う必要があるようだった。
- 9) 母集団の退学率および今回調査の定義による休学率はいずれも男子が女子より高率だった（退学率；2.0%vs1.2%：休学率；2.3%vs1.2%）。
- 10) 調査期間内の母集団死亡学生は9名（0.11%：交通事故4，登山での遭難1，運動中の突然死2，死亡発見例2）だったが、自殺は確認されなかった。
- 11) 精神科医師による25群学生の呼び出し面接で多くは（約60%）は健康で、一般学生との差異はなさそうだったが、25群のおよそ10%程度はかなり切実な神経症傾向や人格病理傾向を示す学生がみられ、この群に対するメンタルヘルスケアの重要性の高さを示唆する結果を示した。
- 12) 毎年度ほぼ同数の入学集団に対してはほぼ同率（1.7%程度）の25学生が存在すること、および常にこの群は高いUPI反応を示すことより25選択の背景にはこの群になんらかの共通した内因的要因が存在している可能性が示唆されるが、その証明は家族の気分障害や自殺の正確な情報が得られず不明だった。またこの群のストレスへの生来的脆弱性が存在する可能性も情報不足で解析はできなかった。

IV ま と め

今回我々はUPI 25群について上述したさまざまな要因について調査を試みた結果によると、25群はその構成学生群には多くの健全学生が含まれていて、個々の事例について調査しても健全な側面を多く含んでいることが明らかになり、集団としてみると母集団の学生が抱えている青年期の悩みあるいは新しい大学生活の適応をめぐるストレスをやや過敏に増幅して反応している群ともみなせるようである。従って25チェック学生のみ必要以上に特別あつかいしなくてもよさそうである。しかし我々がおこなっている入学生面接時の聴き取り調査でもこの群には過去に自殺を実際に試みたという学生、あるいは今回の遡行調査でみると入学後自殺企図をおこなった事例が存在したことなどからやはり大学生メンタルヘルスにおけるハイリスク群の1つであり、入学時のUPIを参考にした地道な個別面接はスクリーニングとして有益であり、我々に学生の精神健康の重要情報を提供しているといえよう。よりあきらかな結果をめざし、われわれは、25群、CL群および母集団の今後をさらに追跡調査する予定である。

補 足

UPIのチェック方式は1991年度から1993年度の3年間は従来の○×方式を採用、1994年度から1996年度は我々が報告した自発記入方式^{2) 3)}を採用している。

文 献

1) 伊藤裕子：－UPI 25 番についての検討－

女子学生にみるUPI 25番の意味，第4回大学精神衛生報告書，60－68，1983

2) 吉村 剛 他：UPI簡略化の試み，第17回全国大学メンタルヘルス研究会報告書，55－60，1996

3) 吉村 剛 他：UPI簡略化の試み ○×方式より自発記入方式への切り替え，第34回全国大学健康管理研究集会報告書，1997

〈第18回全国大学メンタルヘルス研究会（1997.1）にて発表〉

3. エイズ講演会について

学生へのエイズの知識涵養と啓蒙のため下記のように実施し、掲示した。

記

日 時 平成9年1月29日(水) 13:30~15:30

場 所 岐阜大学小講堂(附属図書館)

講 師 野田和子(ぶれいす東京)

演 題 「愛するひとをAIDSで失わないために」

掲 示 物



4. 平成8年度保健管理センター業務報告（関係行事を含む）学生

実施月日	実施行事（内容等）	対象者等
4月	<p>8 8.9.10.11.12 17.18.24.25(夜).26</p> <p>入学式（保健管理センターのオリエンテーション） 健康調査、血圧測定 定期健康診断 身長・体重測定、視力検査（2・3年は希望者）、尿検査 内科診察、胸部レントゲン間接撮影</p> <p>19 22.23 19.30</p> <p>第1回岐阜大学身体障害者受入れ等検討委員会 特別定期健康診断（問診・採血） 再検査（定期健康診断の事後措置）</p>	<p>保健管理センター所長 新入生 工学部2年（男）・4年（男） 教育学部4年 教育研究科 工学研究科後期 医療技術短期大学 吉村・白木出席 放射線取扱者 該当者</p>
5月	<p>7.8.10.14.15.16. 21.22.24.28.29</p> <p>定期健康診断 身長・体重測定、視力検査（2・3年は希望者）、尿検査 内科診察、胸部レントゲン間接撮影</p> <p>9 13 10.13.17.20.23.24</p> <p>再検査（放射線取扱者健診の事後措置） 第1回入学試験委員会健康診断委員会 再検査（定期健康診断の事後措置）</p>	<p>農学部1・2・3年、4～6年 連農、連獣 医学部1・2年 医学研究科 教育学部1・2・3年 工学部1年（男）・3年（男） 工学部（女） 工学研究科前期 農学研究科 該当者</p>
6月	<p>1 3～21 7 14 17 28</p> <p>岐阜県大学保健管理研究会（於：朝日大学） 再検査（定期健康診断の事後措置） 保健管理センター運営委員会 胸部レントゲン直接撮影（司地区・柳戸地区） 定期健康診断（未受診者）13：30～15：30 入学試験委員会 保看班東海地区研究会 当番大学 岐阜大学</p>	<p>該当者 吉村・白木・福富出席 該当者（間接撮影で要精検となった学生および経過観察を要する学生） 吉村出席</p>
7月	<p>5 17 16.17 18 24 25.26</p> <p>第71回岐阜大学保健管理委員会 情報処理研修 サークルリーダー研修会（国立乗鞍青年の家） 救急処置講習会（ワンゲル） 全国大学保健管理協会 東海・北陸地方部会研究集会（保看班） 当番大学 静岡大学 全国大学保健管理協会 東海・北陸地方部会研究集会 当番大学 静岡大学</p>	<p>吉村出席 古澤・本多出席 吉村担当 白木担当 古澤出席 吉村・古澤出席</p>
8月		
9月		

実施月日		実施行事(内容等)	対象者等
10 月	15	農学部学生血液検査実習	栗本・古澤担当 放射線取扱者
	28.29	特別定期健康診断(問診・採血)	
	30.31	岐大祭救護	
11 月	1.2.3	岐大祭救護	吉村・浅田・丹羽出席 古澤出席 吉村担当 吉村出席
	6.7	第34回全国大学保健管理研究集会 当番大学 京都大学	
	6~15	定期健康診断 要観察者の再検査	
	13.14	中部地区メンタルヘルス専門講習会	
	15	主任者研修「健康管理」	
	18	第72回岐阜大学保健管理委員会	
	20	放射線取扱者健康診断(再検査)	
	18.21	外国人留学生特別健康診断	
12 月	26	第1回職員健康診断指導区分判定会議	吉村・浅田・白木出席
	30	岐阜県大学保健管理研究会 (於:朝日大学)	
12 月	2~4	外国人留学生特別健康診断再検査(血圧・尿検査)	吉村・浅田・白木出席
	6	保看班岐阜地区研究会 午前 当番大学 岐阜大学	
	6	保看班東海地区研究会 午後 当番大学 岐阜大学	
	9	保健管理センター運営委員会	
	9~13	外国人留学生特別健康診断の事後措置	
	12.13	メンタルヘルス研究協議会	
1 月	16~20	定期健康診断 要観察者の再検査	吉村・塩川出席 該当者 吉村担当
	16.17	医学部健康診断(国家試験受験用)	
	9	第73回岐阜大学保健管理委員会	
1 月	18.19	大学入試センター試験救護	吉村出席 保健管理センター及び各会場 吉村出席 全学生及び医療技術短大学生
	23	全国大学メンタルヘルス研究会 (於:福岡)	
	29	エイズ講演会 図書館小講堂	
	29	講師 ふれいす東京 野田 和子氏	
2 月	20.21	九州大学へ出張	栗本 丹羽担当 保健管理センター及び各会場 白木・古澤担当
	22	医療技術短期大学部入試救護	
	25	一般選抜入試(前期日程) 救護及び精密検査	
	26.27	一般選抜入試 教育学部実技検査救護	
3 月	2	教育研究科入試救護	栗本担当 吉村担当 丹羽・古澤
	4~6	医療技術短期大学部健康診断(国家試験受験用)	
	12	一般選抜入試(後期日程) 救護及び精密検査	
	13.14	山口大学へ出張	

平成8年度保健管理センター業務（関係行事を含む）職員

実施月日		実施行事（内容等）	対象者等
4月	17 22.23	定期健康診断 特別定期健康診断（問診・採血）	医療技術短期大学部 放射線取扱者
5月	9 28.29	特別定期健康診断（問診・採血）再検査 一般定期健康診断 身長・体重測定、視力検査、内科診察、尿検査 血圧測定、胸部レントゲン間接撮影	放射線取扱者 柳戸地区
6月	3～21 4～5 14	一般定期健康診断の再検査 一般定期健康診断 身長・体重測定、視力検査、内科診察、尿検査 血圧測定、胸部レントゲン間接撮影 胸部レントゲン直接撮影	該当者 司地区 該当者（間接撮影で要精検となつた職員及び経過観察を要する職員）
7月	9 10 10.11	特別定期健康診断（問診・採血・尿検査等） 特別定期健康診断（問診・採血） 一般定期健康診断（血液・便潜血・喀痰細胞診）	特定有害業務従事者 病原体取扱者 35歳・40歳以上
8月			
9月	17.18	一般定期健康診断（心電図検査）	35歳・40歳以上
10月	28.29	特別定期健康診断（問診・採血）	放射線取扱者
11月	20 26	特別定期健康診断（問診・採血）再検査 平成8年度 第1回職員健康診断指導区分判定会議	放射線取扱者
12月			
1月	20 21 26.27	特別定期健康診断（問診・採血・尿検査等） 特別定期健康診断（問診・視力検査・握力検査等） 一般定期健康診断（胃の検査）	特定有害・病原体汚染業務従事者 紫外線・自動車運転・食品取扱・VDT業務者 40歳以上
2月			
3月	18	平成8年度 第2回職員健康診断指導区分判定会議	

5. 平成8年度疾病分類別要管理者内訳（学部学生）

大分類	病名	教育学部		医学部		工学部		農学部		合計					
		指導区分		要観察		要医療		要観察		要医療					
		要観察	要医療	要観察	要医療	要観察	要医療	要観察	要医療	要観察	要医療				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
I 感染症および寄生虫症	肝炎		1									1			
	急性リンパ性白血病						1					1			
III 血液および造血器の疾病	鉄欠乏性貧血	6		1				1	2		3	4	1	11	5
	再生不良性貧血および骨髄異形成症候群			1											1
IV 内分泌、代謝疾患	甲状腺機能亢進症										1			1	
	橋本病										1			1	
	バセドウ氏病										1			1	
	糖尿病	1	1								1			2	1
	腎性糖尿				1									1	
V 精神および行動の障害	精神分裂病、分裂病型障害および行動の障害	1						2	(夜間主1)					3	
	気分(感情)障害							1						1	
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2	5		3			10	(夜間主1)		1	5		16	10
	摂食障害		2								3			5	
	成人の人格及び行動の障害							1			1			1	1
	その他	1												1	
VI 神経系の疾患	てんかん			1						2	(夜間主1)				3
	右硬膜下膿瘍										1			1	
VII 眼および付属器の疾患	緑内障		1											1	
	網膜剥離										1			1	
IX 循環器系の疾患	肺動脈弁狭窄症							1						1	
	僧帽弁閉鎖不全症							1						1	
	僧帽弁逸脱症候群							1						1	
	不整脈				1			2						3	

大分類	学部 指導区分 病名	教育学部		医学部		工学部		農学部		合計		
		要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
IX 循環器系の疾患	期外収縮	1				5			2	3	8	3
	w p w 症候群			1		1					2	
	洞性徐脈					1					1	
	房室ブロック		1		1						1	1
	心室内伝導障害	1									1	
	不完全右脚ブロック						1					1
	心筋症(疑)					1					1	
	心膜嚢腫			1							1	
	高血圧	1	1			1					1	1
X 呼吸器系の疾患	肺結核					1					1	
	右中肺硬化像					1					1	
	右肺野輪状影					1					1	
	陳旧性胸膜炎	1									1	
	胸膜癒着					1					1	
	気胸	1		1		1					2	1
	肺気管支原性嚢胞	1									1	
	縦隔腫瘍	1									1	
	気管支喘息	1									1	
XI 消化器系の疾患	十二指腸潰瘍								1		1	
	クローン病		1									1
	慢性胃炎	1									1	
	潰瘍性大腸炎							3				3
	高コレステロール血症				1						1	

大分類	学部 指導区分 病名	教育学部		医学部		工学部		農学部		合計										
		要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療									
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女									
XII 皮膚および 皮下組織の疾患	アトピー性皮膚炎	1		1				2 (夜間主2)			1	1	3	1						
	足の爪の変色(黒褐色)						1					1								
	皮膚線維腫				1							1								
XIII 筋骨格系お よび結合組織 の疾患	全身性エリトマトーデス								1			1								
	ステイル病					1							1							
XIV 尿路生殖器系 の疾患	I g A 腎 症							1					1							
	ネフローゼ症候群				1								1							
	慢性糸球体腎炎						1						1							
	慢性腎炎	1	1					4		1		6	1							
	膀胱尿管逆流手術後				1								1							
	特発性腎出血							1					1							
	反復性血尿							1					1							
	水腎症									1			1							
	アレルギー性 紫斑病性腎炎					1							1							
	起立性蛋白尿		7			1	2		4		2	3	7	12						
	遊走腎		1											1						
XV 先天奇形、 変形および染 色体異常	ファロー四徴術後								1					1						
	心房中隔欠損症	1	1					1					2	1						
	心室中隔欠損症	2	4					1		1	1		4	5						
合 計		14	37	4	2	11	4	1	1	50	4	7	0	11	24	7	86	69	12	10
総 計		51		6		15		2		54		7		35		7	155		22	

平成8年度疾病分類別要管理者内訳（大学院生）

大分類	学部 指導区分 病名	教育学部		医学部		工学部		農学部		合計										
		要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療									
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女									
Ⅲ 血液および 造血器の疾患	鉄欠乏性貧血					1 (1)	1		1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (1)	2							
	再生不良性貧血					1					1									
	赤血球增多								1 (1)		1 (1)									
Ⅳ 内分泌、代 謝疾患	糖尿病								2 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (1)								
	糖尿病の疑い					1					1									
Ⅴ 精神および 行動の障害	気分(感情)障害									1			1							
	神経症性障害、ストレス関 連障害及び身体表現性障害				1		2		1	1	3	2								
Ⅸ 循環器系の 疾患	心肥大								1 (1)		1 (1)									
	高血圧								1 (1)		1 (1)									
	不整脈						1			1	1	1								
Ⅹ 呼吸器系の 疾患	肺萎縮						1				1									
	気胸	1									1									
	肺結核					1 (1)							1 (1)							
Ⅺ 消化器系の 疾患	十二指腸潰瘍							1 (1)					1 (1)							
	高アミラーゼ血症								1 (1)		1 (1)									
	高脂血症						1 (1)		1 (1)		2 (2)									
	体質性黄疸								1 (1)			1 (1)								
	脂肪肝						1 (1)				1 (1)									
	肝機能障害						1 (1)		1 (1)		2 (2)									
Ⅻ 尿路性器系 の疾患	慢性腎炎			1					2		2	1								
	遊走腎		1									1								
ⅫⅡ 先天奇形、変形 および染色体異常	心室中隔欠損症								2	1	2	1								
総	合	計	1	1			2	1	10	1	1	1	14	5	2	2	25	9	3	3
									(1)	(4)		(1)	(8)	(2)	(1)	(12)	(2)	(2)	(1)	

() の内数は留学生の再掲

平成8年度疾病分類別管理者内訳（医療技術短期大学部）

大分類	指導区分 病名	要観察		要医療		合計	
		男	女	男	女	男	女
Ⅲ 血液および造血器の疾患	鉄欠乏性貧血				1		1
Ⅳ 内分泌、代謝疾患	糖尿病の疑い		2				2
	糖尿病境界型		1				1
Ⅴ 精神および行動の障害	神経性障害、ストレス関連障害および妄想性障害		1				1
	その他		1				1
Ⅸ 循環器系の疾患	期外収縮		1				1
ⅩⅣ 尿路性器系の疾患	慢性腎炎		1				1
合計			7		1		8

6. 平成8年度 休学・退学・除籍者調べ

(1) 休学者

(学部、医療技術短期大学部)

区 分	教育学部		地 域 学 部		医 学 部		工 学 部 間		工 学 部 主		農 学 部		合 計		医 療 技 術 短 期 大 学 部	
精 神 障 害	1	2			1	2	2	2			11	12	4	6		
消極的理由(アパシー群)	7	7			1	1	25	25	4	4	1	1	48	49		
積極的理由(留学・受験等)	13	14			1	1	12	12			5	5	27	28	1	1
家族・経済的理由等	4	4					1	1	6	6	1	1	15	15	1	1
単 位 取 得 済 み	1	1					21	21				1	24	24	1	1
身 体 疾 患	1	1					1	1	1	1	1		4	4		
不 詳 ・ 不 明	2	3			1	1							3	4		
合 計	29	32	0	0	4	5	62	62	11	11	19	20	125	130	3	3

(大学院)

区 分	教育研究科		医学研究科		工学研究科		農学研究科		合 計		連 合 農 学 研 究 科		連 合 獣 医 学 研 究 科	
精 神 障 害									0	0				
消極的理由(アパシー群)	1	1			1	1	1	1	3	3				
積極的理由(留学・受験等)			3	3	1	1	2	2	6	6				
家族・経済的理由等	1	1	2	2	2	2			5	5	4	4		
単 位 取 得 済 み									0	0				
身 体 疾 患									0	0				
不 詳 ・ 不 明					9	9			9	9				
合 計	2	2	5	5	13	13	3	3	23	23	4	4	0	0

*左側は実数・右側は延べ数。

(2) 退学者

(学部、医療技術短期大学部)

区 分	教育学部	地 域 学 部		医 学 部	工 学 部 間		工 学 部 主	農 学 部	合 計	医 療 技 術 短 期 大 学 部
精 神 障 害									0	
消極的理由(アパシー群)	8				13		2	5	28	
積極的理由(留学・受験等)	8				17		1	6	32	1
家族・経済的理由等					3		1	2	6	
身 体 疾 患					1		1		2	
不 詳 ・ 不 明	4			1	1		1		7	
合 計	20		0	1	35		6	13	75	1

*特殊教育特別専攻科1名を含む。

(大学院)

区 分	教育研究科	医学研究科	工学研究科	農学研究科	合 計	連合農学 研究科	連合獣医学 研究科
精 神 障 害			2		2		
消極的理由(アパシー群)				2	2		
積極的理由(留学・受験等)		6	5	3	14	1	
家族・経済的理由等		1		1	2	2	
身 体 疾 患					0		
不 詳 ・ 不 明			2		2		2
合 計	0	7	9	6	22	3	2

(3) 除籍者

(学部・医療技術短期大学部)

区 分	教育学部	地 域 科 学 部	医 学 部	工 学 部 間	工 学 部 主	農 学 部	合 計	医 療 技 術 短 期 大 学 部
死 亡	病 気							
	事 故		1			1	2	
	自 殺							
	そ の 他							
授 業 料 未 納	2			3	2	1	8	
そ の 他								
合 計	2		1	3	2	2	10	0

(大学院)

区 分	教育研究科	医学研究科	工学研究科	農学研究科	合 計	連合農学 研究科	連合獣医学 研究科
死 亡	病 気	1			1		
	事 故						
	自 殺						
	そ の 他						
授 業 料 未 納							
そ の 他							
合 計		1			1	0	0

Ⅲ 参 考 資 料

1. 健康診断受診率

定期健康診断受診率

表 1 学 部 別

学部 年度	教育学部	医学部	工 学 部		農学部	教養部	全学平均	備 考
			昼 間	夜間主				
62	76.8%	42.0%	62.5%	—%	86.5%	52.1%	62.3%	各学部等の協力なし
63	81.3	47.0	67.3	—	70.9	58.7	63.5	
元	86.8	48.6	87.2	—	84.6	67.3	74.3	受診促進のための資料配布
2	95.0	47.7	91.5	—	89.7	92.9	89.3	大学入試センター試験開始 受診促進のための資料配布 各学部等の協力あり
3	94.0	77.9	91.4	—	97.4	95.7	93.5	
4	97.4	91.4	93.1	90.2	98.0	95.9	95.5	
5	95.0	94.4	94.7	83.0	95.9	—	94.6	
6	94.2	89.7	93.1	81.6	96.5	—	93.3	
7	95.8	87.1	93.1	79.3	94.7	—	92.8	
8	93.6	98.7	81.9	98.1	90.4	—	85.9	

表 2 学 年 別

学年 年度	1	2	3	4	5	6	全学平均	備 考
62	67.6%	45.0%	56.7%	87.4%	—%	—%	62.3%	
63	77.5	41.3	60.2	84.4	—	—	63.8	
元	85.9	50.0	79.6	84.8	46.8	88.7	74.3	
2	97.4	88.6	91.0	84.5	56.8	93.7	89.3	
3	97.5	94.1	96.1	87.4	66.5	96.0	93.5	
4	98.1	93.7	97.5	93.7	83.5	99.1	95.5	
5	97.2	92.7	96.8	92.2	90.9	98.3	94.6	
6	95.3	89.5	95.1	93.6	91.2	93.8	93.3	
7	98.6	89.7	90.1	93.2	89.2	93.1	92.8	
8	89.3	77.5	86.4	88.2	92.9	98.3	85.9	

※ 大学院、医療技術短期大学部を除く

表 3

年度 \ 学年	大 学 院	医 療 技 術 短 期 大 学 部	備 考
62	86.3 %	—	各学部等の協力なし
63	80.4	—	
元	83.4	—	受診促進のための資料配布
2	82.5	—	受診促進のための資料配布 各学部等の協力あり
3	87.0	—	
4	83.9	100.0	
5	81.9	100.0	
6	80.7	99.6	
7	79.4	99.2	
8	76.4	99.6	

2. 学生への配布資料「定期健康診断について」

平成元年度から学生全員にチラシを配布し、定期健康診断の受診率向上の努力をしている。

定期健康診断について

平成8年度の定期健康診断を裏面の日程表のとおり実施します。

日時等をよく確かめて必ず受診して下さい。
なお、指定日に受けられない学生は、別の都合の良い日に受けて下さい。

定期健康診断を受けなかった学生には、健康診断書等の発行はできません。

〈注意事項〉

1. 健康診断を受診する当日は、激しい運動を避けること。
(尿検査の結果に影響がでることがあります。)
2. 健康診断の結果を記入する健康管理カードIは、持ち帰らないように。(返却かごに提出してください。)
3. 女子は、薄地のTシャツで、飾り(ワンポイント、ラメ、ボタン、刺繍など)の付いていないものを着用すること。
ネックレスなどは、はずしておくこと。
髪の毛の長い人は、束ねて上にあげておくこと。
4. 受診日には学生証を携帯して、係員に受検済みの印を(レントゲン撮影時)押しってもらうこと。

健康診断が早く終了するように協力しましょう。

岐阜大学保健管理センター

平成8年度定期健康診断実施日程

学部等	学年等	月 日	実施場所	実施時間
教育学部	1年	◎5月22日(水)	保健管理センター	13:00~15:30
	2年	◎5月8日(水)	//	13:00~15:30
	3年	5月24日(金)	//	13:00~15:30
	4年	4月18日(水)	//	13:00~15:30
医学部	1・2年	5月7日(火)	//	13:00~15:30
	3~6年	5月14日(火)	司町 医学部	11:00~14:00
工学部	1年 男子	5月15日(水)	保健管理センター	13:00~15:30
	2年 男子	4月24日(水)	//	13:00~15:30
	3年 男子	5月21日(火)	//	13:00~15:30
	4年 男子	4月25日(水)	//	13:00~15:30
	女子	◎5月22日(水)	//	13:00~15:30
	夜間主コース 全員	4月26日(金)	//	17:30~19:30
農学部	1年	5月16日(水)	//	13:00~15:30
	2年	◎5月22日(水)	//	13:00~15:30
	3年	5月7日(火)	//	13:00~15:30
	4~6年	5月10日(金)	//	13:00~15:30
教育学研究科	全員	4月18日(水)	//	13:00~15:30
医学研究科	全員	5月14日(火)	司町 医学部	11:00~14:00
工学研究科	前期1年	5月16日(水)	保健管理センター	13:00~15:30
	前期2年	◎5月8日(水)	//	13:00~15:30
	後期全員	4月18日(水)	//	13:00~15:30
農学研究科	全員	◎5月8日(水)	//	13:00~15:30
連合農学研究科	全員	5月10日(金)	//	13:00~15:30
連合獣医学研究科	全員	5月10日(金)	//	13:00~15:30
医療技術短大部	全員	4月17日(水)	北野町 医療短大	13:00~15:30

注) 1. 検査項目: 身長、体重、視力、尿(蛋白・糖)、胸部X線間接撮影、内科診察。

ただし視力については、新入生・卒業予定者・修了予定者・希望者のみとする。

2. 新入生については、健康管理カード提出時に血圧測定を実施します。

3. ◎印の日は、X線撮影を2カ所(保健管理センター内の撮影室と校診車〈学生部玄関前〉)で実施します。

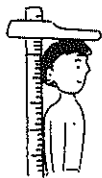
4. 研究生と特殊教育特別専攻科・農業別科の学生は、上記の定期健診日のうち都合のよい日に受診してください。

1. 健康診断は何のためにするのでしょうか？

- 目的
- ① 現在の健康状態を把握するため
 - ② 健康を維持・増進し、勉学の能率をあげるため
 - ③ 健康の大切さを再確認するため
 - ④ 病気、身体の異常を早く発見し、早く治すため

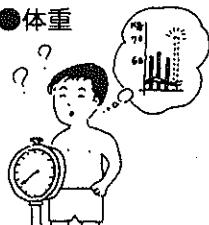
2. 自分の体を知ろう

●身長



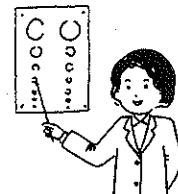
どれくらい背が伸びているかを確認するため。

●体重



体重が異常に増えたり減ったりしているのは、健康の注意信号です。

●視力検査



視力がおちていないか、視力の矯正（メガネ・コンタクト）は適正であるかを調べます。

●胸部X線撮影



結核にかかっていないか、心臓に異常がないかなどを調べます。

●尿検査



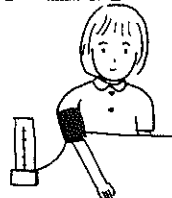
腎臓病・糖尿病などにかかっていないかを調べます。

●内科診察



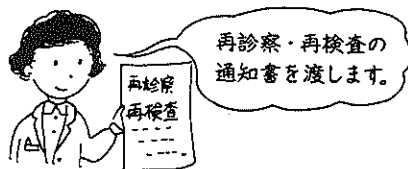
栄養・背骨・皮膚・心臓・肺などに病気や異常がないか調べます。

●血圧測定

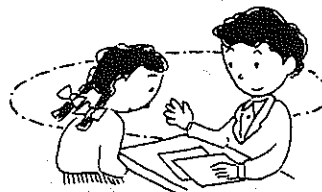


高血圧・低血圧はないか、その傾向がないかを調べます。

3. 問題点がみつかったら、解決策を考えよう



再診察・再検査の通知書を渡します。



※再診察・再検査の通知書を買った人は、指定日に保健管理センターへ来て、診察、検査を必ず受けてください。他の医療機関へは行かないで、まず、保健管理センターで、保健指導・診察などを受け、生活改善に努めてください。必要に応じて医療機関も紹介します。

食べていますか？ 野菜



岐阜大学の学生 野菜不足の傾向みられる！

岐阜大学生協主催の栄養相談会(平成7年11月実施)の資料によると

緑黄色野菜を週6日以上食べている 男…0% 女…28.6%

淡色野菜を週6日以上食べている 男…28.6% 女…28.6%

と毎日食べている人は、少ないという結果でした。



野菜にはこんな健康効果がある

- ① ガンなどの成人病予防
- ② 便秘・肥満予防



1日にとる野菜の目安量

緑黄色野菜 100g + 淡色野菜 200g

おもな緑黄色野菜100グラムの目安量



にんじん2/3本



かぼちゃ1/8個



ピーマン2個



ほうれん草1/3束

ニラ、チンゲン菜、ブロッコリー
パセリ、トマト、オクラ、さやえんどう
グリーンアスパラ、大根葉 etc

おもな淡色野菜100グラムの目安量



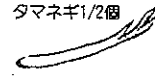
白菜1枚



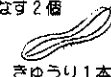
タマネギ1/2個



なす2個



ネギ1本



きゅうり1本



大根1/8本

キャベツ、レタス、カリフラワー、もやし
ごぼう、たけのこ、セロリ etc



1日300gの野菜を上手にとるコツ

- ①朝食をかならずとる
- ②サラダばかりはダメ
- ③外食は野菜付きの定食を
- ④冷凍野菜を利用しよう
- ⑤1日5種類の野菜をとる

朝食を抜くと、1日300gはむづかしい。

生野菜だけでは量がとれないので、ゆでたり煮たり炒めたりの料理をしよう。

付け合わせの野菜でも30gはあります。まず、全部食べよう。

買い物できない時に使える、一人分ずつ使えるという利点がある。野菜の成分はほとんど変わりません。

Vegetables

3. 「健康のしおり」について

保健管理センターでは、昭和57年2月に「健康のしおりー健康管理ー」を創刊号として発行して以来、学生が日常生活をしていく上に必要かつ一般的でしかも身近な問題を取り上げ、わかりやすく編集している。既に39号まで刊行し、学生及び教職員に配布して好評を得てきた。本年は、○印のしおりを手にとりやすい大きさのパンフレットに刷新した。

健康のしおり

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| ①. ー健康管理ー | 22. ー狭心症と心筋梗塞ー |
| 2. ー健康づくりー | ⑳. ー花粉症についてー |
| ③. ー心の健康ー | 24. ー胃集団検診受診の勧めー |
| ④. ーかぜ症候群ー | 25. ーカルシウムと骨粗しょう症ー |
| ⑤. ー頭痛ー | 26. ー胃癌の治療（最近の動向）ー |
| 6. ー尿検査で、尿糖（+）といわれたらー | ㉑. ー便秘についてー |
| 7. ー心臓の話ー | 28. ーウイルス肝炎と肝臓ー |
| 8. ー腹痛についてー | 29. ーエイズ（AIDS）についてー |
| 9. ー心雑音及び心音についてー | ⑳. ー肥満についてー |
| 10. ー動悸についてー | 31. ー動脈硬化についてー |
| 11. ー尿潜血（+）といわれたらー | ㉒. ータバコについてー |
| ⑫. ー蛋白質（+）といわれたらー | ㉓. ー気管支喘息ー |
| 13. ー血圧についてー | ⑳. ー社交（または対人）不安ー |
| 14. ーアルコールと消化器ー | ㉕. ー高脂血症についてー |
| 15. ーアルコールと消化器（Ⅱ）ー | ㉖. ー炎症性腸疾患（IBD）とはー |
| 16. ー糖尿病ー治療についてー | ㉗. ー社交不安 その2
（大学生に最近目立つ悩み）ー |
| 17. ー胃を悪くした時の話ー | 会食不安・状況性排尿困難または頻尿 |
| 18. ー糖尿病ー治療についてーその2 | ㉘. ー糖尿病ー |
| 19. ー甲状腺についてー | ㉙. ー生活の中の放射線ー |
| 20. ー高血圧についてー | |
| 21. ーコレステロールと中性脂肪ー | |

IV 保健管理センター規則等

1 岐阜大学保健管理委員会規則

(趣 旨)

第1条 岐阜大学（岐阜大学医療技術短期大学部（以下「医療技術短期大学部」という。）を含む。以下「本学」という。）における学生及び職員の保健管理に関する基本的な事項を審議するため、本学に岐阜大学保健管理委員会（以下「委員会」という。）を置き、委員会に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 学 長
- 二 各学部長、大学院連合農学研究科長、大学院連合獣医学研究科長、医療技術短期大学部部長
- 三 医学部附属病院長
- 四 保健管理センター所長
- 五 事務局長
- 六 学生部長
- 七 その他学長が必要と認める者

2 前項第7号に規定する委員は、学長が委嘱し、その任期は1年とし、再任を妨げない。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 保健管理の基本方針に関する事項
- 二 環境衛生の維持改善に関する事項
- 三 保健管理センターの組織及び運営に関する重要事項
- 四 保健管理センターの所長及び教官の人事に関する事項
- 五 その他保健管理に関する重要事項

2 前項第4号に掲げる事項について審議する場合には、前条第1項第5号及び第7号に規定する委員を除くものとする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させることができる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(専門委員会)

第7条 委員会は、特定の事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員は、委員長が委嘱する。

(幹事)

第8条 委員会に幹事を置き、庶務部長及び学生部次長をもって充てる。

2 幹事は、委員会の事務を処理する。

附 則

この規則は、昭和49年7月16日から施行する。

附 則

この規則は、平成元年6月22日から施行し、この規則による改正後の規則の規定は平成元年5月29日から適用する。

附 則

この規則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成3年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

2 岐阜大学保健管理センター規則

(昭和49年7月16日 岐阜大学規則第14号)

(趣 旨)

第1条 岐阜大学保健管理センター（以下「保健管理センター」という。）は、岐阜大学（岐阜大学医療技術短期大学部（以下「医療技術短期大学部」という。）を含む。以下「本学」という。）における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図るものとし、保健管理センターの組織及び運営に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(業 務)

第2条 保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 学内の保健計画の立案について指導援助すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。
- 三 健康相談に応ずること。
- 四 救急処置を行うこと。
- 五 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。
- 六 学内の環境衛生及び伝染病予防について指導援助すること。
- 七 保健管理の充実向上のための調査・研究を行うこと。
- 八 その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

(組 織)

第3条 保健管理センターに次の職員を置く。

- 一 所長
- 二 専任の教官
- 三 技術職員
- 四 事務職員

(分 室)

第4条 保健管理センターには、必要に応じ分室を置くことができる。

- 2 分室に関し必要な事項は、別に定める。

(学生相談室)

第5条 保健管理センターに、学生のカウンセリングを行うため、学生相談室を置く。

- 2 学生相談室に関し必要な事項は、別に定める。

(所長の職務)

第6条 所長は、本学の教授をもって充て、保健管理センターの業務を掌理する。

(所長等の選考)

第7条 所長及び専任の教官の選考については、別に定める。

(委員会)

第8条 保健管理センターに保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、所長の諮問に応じ、保健管理センターの運営に関する具体的な方策その他必要な事項を審議する。

(委員会の組織)

第9条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 所長
- 二 学生部長
- 三 保健管理センターの専任の教官
- 四 各学部及び医療技術短期大学部から選出された教官 各1人
- 五 庶務部長
- 六 学生部次長
- 七 その他委員会が必要と認める者

2 前項第4号及び第7号に規定する委員は、学長が委嘱する。

(委員の任期)

第10条 前条第1項第4号及び第7号に規定する委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠委員の任期は、前任の残任期間とする。

(会議)

第11条 所長は、委員会を招集し、その議長となる。

(事務)

第12条 保健管理センターに関する事務は、当分の間、学生部厚生課において処理する。

附 則

- 1 この規則は、昭和49年7月16日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、当分の間、同条第2号に規定する業務のうち職員に係る部分については庶務部人事課、学生に係る部分については学生部厚生課において、それぞれ処理するものとする。

附 則

この規則は、昭和55年12月18日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成3年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

岐阜大学保健管理センター学生相談室細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、岐阜大学保健管理センター規則第5条第2項の規定に基づき、岐阜大学保健管理センター学生相談室（以下「学生相談室」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(業 務)

第2条 学生相談室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 学生の個人的な健康相談に応ずること。
- 二 相談・助言及び指導に必要な資料を備えること。
- 三 相談・助言及び指導の調査、研究を行うこと。

(組 織)

第3条 学生相談室に次の職員を置く。

一 室長

二 学生相談員

- 2 室長は、保健管理センター所長をもって充てる。
- 3 学生相談室員は、保健管理センターの専任教官及び岐阜大学の職員のうちから保健管理センター所長が推薦する者をもって充てる。
- 4 前項に規定する保健管理センター所長が推薦する学生相談員は、学長が委嘱する。

(秘密の厳守)

第4条 相談内容については、秘密を厳守する。ただし、室長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(学生相談室会議)

第5条 室長は、相談・助言及び指導に関し必要なときは、学生相談員を招集し、学生相談室会議を主宰することができる。

- 2 室長は、学生相談室会議の議長となる。
- 3 室長に事故があるときは、室長があらかじめ指名する者が議長を代理する。
- 4 室長が必要と認めるときは、学生相談室会議に学生相談室員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

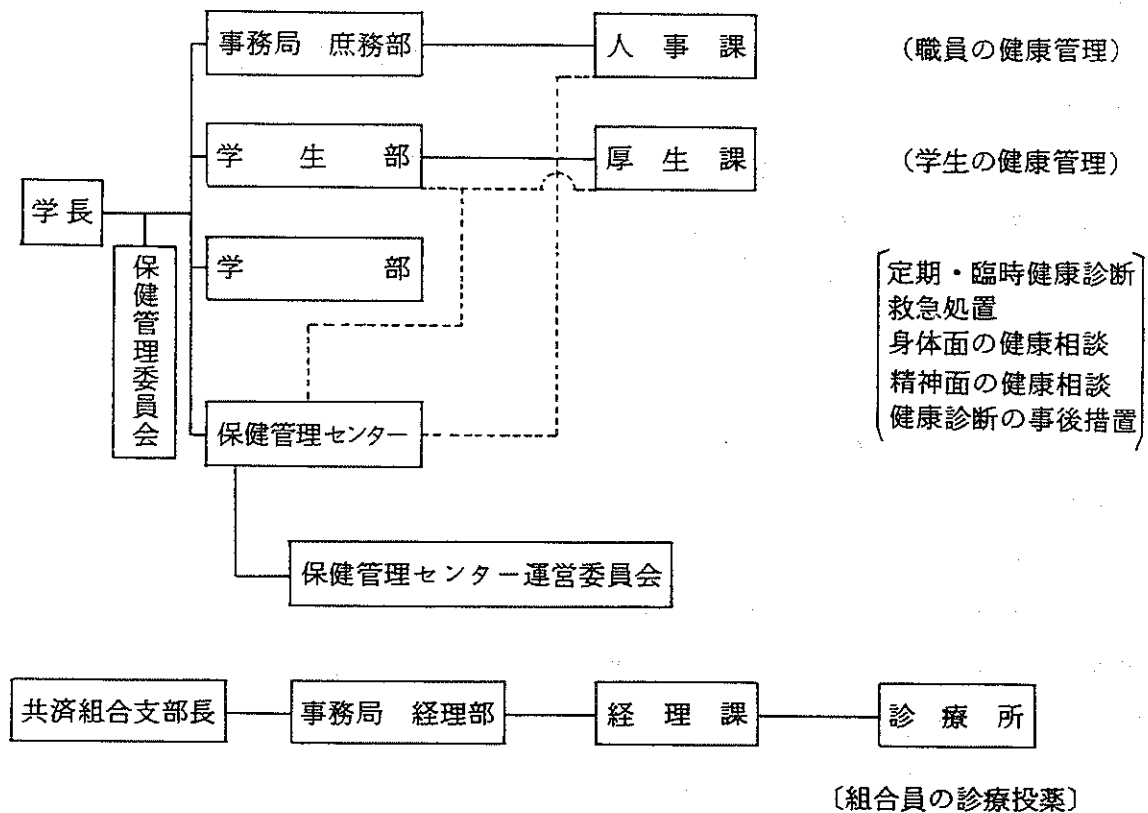
(事 務)

第6条 学生相談室の事務は、学生部厚生課において処理する。

附 則

この細則は、平成9年4月1日から施行する。

3 岐阜大学健康管理機構略図



4 保健管理センター医師・学校医及び学生相談室員の担当日時

柳戸地区 岐阜市柳戸1番1

〈058〉 293-2174

曜日	担当者	専門科目	担当時間
月	㊦ 吉村教授	神経精神科	9:00 ~ 12:00
	㊦ 白木助手	内科	9:00 ~ 17:00
	㊦ 福富助手	内科	9:00 ~ 12:00
	㊨ 馬路教授	食物学	14:00 ~ 16:00
火	㊦ 吉村教授	神経精神科	9:00 ~ 17:00
	㊦ 白木助手	内科	9:00 ~ 17:00
	㊦ 福富助手	内科	9:00 ~ 17:00
	㊨ 大井教授	実験心理学	13:00 ~ 15:00
	㊨ 松岡教授	保健体育科	14:00 ~ 16:00
水	㊦ 白木助手	内科	9:00 ~ 17:00
	㊨ 古橋医員	内科	10:00 ~ 12:00
			13:00 ~ 17:00
	㊨ 三井教授	保健体育科	9:00 ~ 11:00
木	㊦ 吉村教授	神経精神科	9:00 ~ 17:00
	㊦ 白木助手	内科	9:00 ~ 17:00
	㊦ 福富助手	内科	9:00 ~ 17:00
	㊦ 平野医師	内科	13:00 ~ 17:00
	㊨ 橘助教授	教育心理学	15:00 ~ 17:00
金	㊦ 吉村教授	神経精神科	9:00 ~ 17:00
	㊦ 福富助手	内科	9:00 ~ 12:00
	㊦ 白木助手	内科	13:00 ~ 17:00

毎週金曜日（本学の休学日の金曜日は除く）は、午後7時まで開設しています。

司地区 岐阜市司町40

〈058〉 267-2335

曜日	担当者	専門科目	担当時間
火	㊦ 西本助手	整形外科	13:00 ~ 14:00
水	㊦ 小出教授	神経精神科	10:00 ~ 12:00
	㊨ 村瀬助手	内科	8:30 ~ 12:30
			14:00 ~ 16:00
	㊦ 秋田助手	耳鼻咽喉科	9:00 ~ 12:00
	㊦ 國枝助手	外科	15:00 ~ 16:00
木	㊦ 山脇講師	放射線科	11:00 ~ 12:00
	㊦ 杉山講師	眼科	11:00 ~ 12:00

・ 司地区での診療・相談を希望する者は、必ず事前に保健管理センター又は、医学部学務課厚生係に申し出て係員の指示に従ってください。

※ 保健管理センター医師は㊦・学校医は㊦・学生相談室員は㊨で示す。

5 関係職員（平成8年度）

○保健管理委員会委員

（平成 8. 4. 1 現在）

学 長
 教 育 学 部 長
 医 学 部 長
 工 学 部 長
 農 学 部 長
 教 養 部 長
 大学院連合農学研究科長
 大学院連合獣医学研究科長
 医療技術短期大学部部長
 医学部附属病院長
 保健管理センター所長
 事務局 長
 学 生 部 長

金 城 俊 夫
 後 藤 忠 彦
 野 澤 義 則
 清 水 宏 晏
 中 村 孝 雄
 松 田 之 利
 仲 野 良 紀
 鈴 木 義 孝
 武 内 章 二
 河 田 幸 道
 安 田 圭 吾
 近 藤 昌 彦
 小 川 克 正

○保健管理センター運営委員会委員

（平成 8. 4. 1 現在）

保健管理センター所長
 学 生 部 長
 保 健 管 理 医
 〃
 〃
 教 育 学 部 教 授
 〃
 〃
 教 育 学 部 助 教 授
 医 学 部 教 授
 〃
 工 学 部 教 授
 農 学 部 教 授
 教 養 部 教 授
 〃

安 田 圭 吾
 小 川 克 正
 吉 村 剛
 白 木 尚
 福 富 尉
 袖 木 馥
 馬 路 泰 藏
 三 井 淳 藏
 橘 良 治
 土 肥 修 司
 小 出 浩 之
 上 岡 宏 彰
 小 森 成 一
 志 賀 潔
 大 井 修 三

教 養 部 教 授	松 岡 敏 男
医 療 技 術 短 期 大 学 部 教 授	宮 崎 青 爾
〃 〃	竹 内 淑 子
医 学 部 助 手	西 本 裕
〃 〃	村 瀬 全 彦
〃 〃	國 枝 克 行
医 学 部 附 属 病 院 講 師	山 脇 義 晴
〃 〃	杉 山 和 久
〃 〃 助 手	秋 田 茂 樹
〃 〃 医 員	古 橋 直 樹
庶 務 部 長	塩 見 弥 一
学 生 部 次 長	湯 口 唯 男
開 業 医	平 野 高 弘

○保健管理センター

所 長 (併)	セ ン タ ー 教 授	安 田 圭 吾
保 健 管 理 医	教 授	吉 村 剛
〃	助 手	白 木 尚
〃	〃	福 富 尉 子
	看 護 婦 主 任	栗 本 良 子
	看 護 婦	丹 羽 美 穂 子
	保 健 婦	古 澤 洋 子
	〃	本 多 恭 子

(柳戸地区)

学 生 相 談 室 員	教 育 学 部 教 授	馬 路 泰 藏
〃	〃 教 授	三 井 淳 藏
〃	〃 助 教 授	橋 良 治
〃	教 養 部 教 授	大 井 修 三
〃	〃 教 授	松 岡 敏 男
〃	医 学 部 附 属 病 院 医 員	古 橋 直 樹
学 校 医	医 学 部 附 属 病 院 医 員	古 橋 直 樹
〃	開 業 医	平 野 高 弘

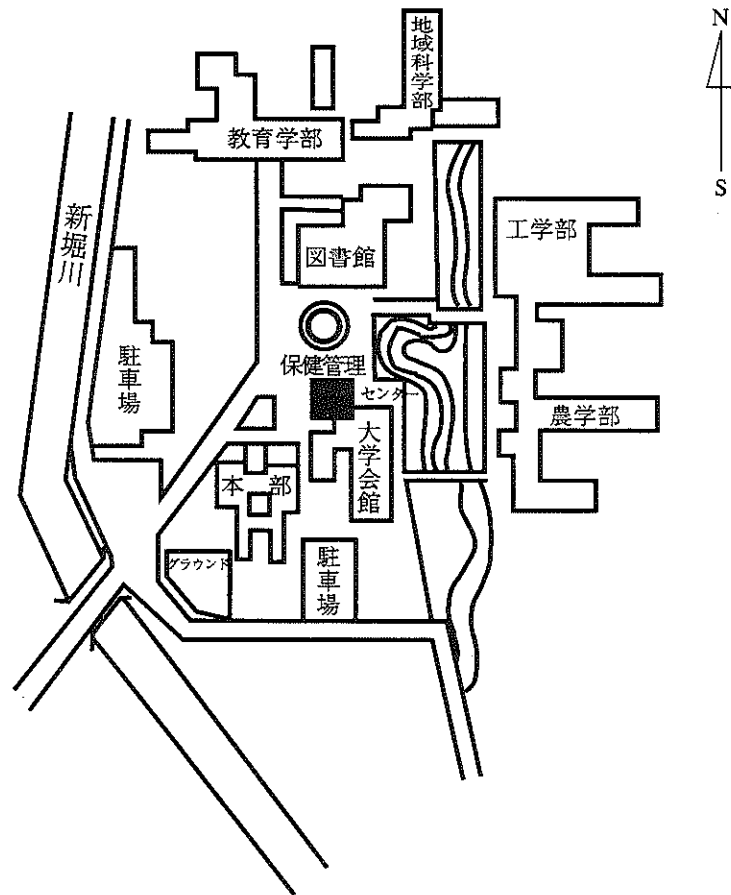
(司地区)

学生相談室員	医学部教授	小	出	浩	之
〃	医学部助手	村	瀬	全	彦
学校医	医学部助手	國	枝	克	行
〃	医学部附属病院講師	山	脇	義	晴
〃	〃 講師	杉	山	和	久
〃	〃 助手	秋	田	茂	樹
〃	医学部助手	西	本		裕
〃	〃 助手	村	瀬	全	彦

○保健管理センターに関する事務担当課(学生部厚生課)

厚生課長	文部事務官	塩	川	銀	三
専門職員	〃	杉	原	義	明

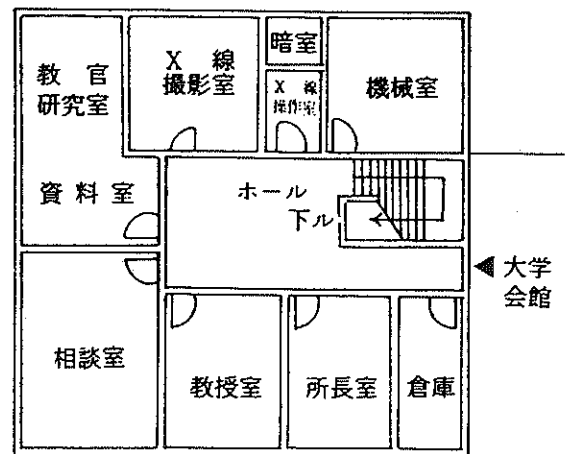
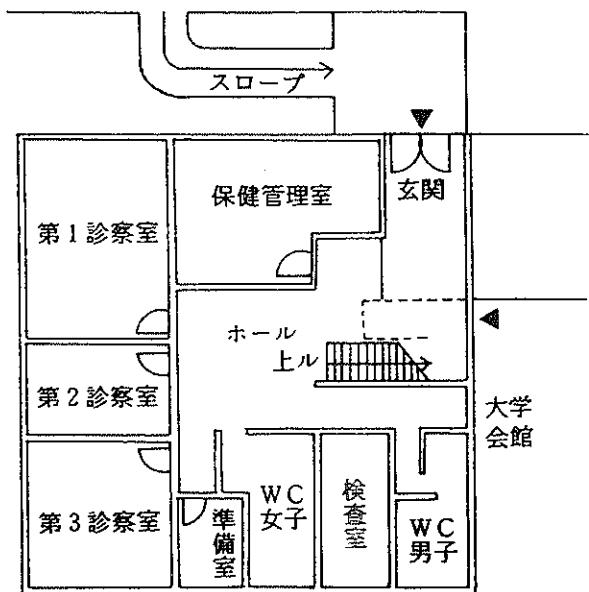
6 保健管理センター位置図



保健管理センター平面図

1 階 (260 m²)

2 階 (265.1 m²)



7 主要設備備品

(平成9年3月現在)

品名	規格	数量
スキルメータ・レサシ・アン (CPR訓練用マネキン)	ノルウェーレールダル社製	1
顕微鏡	オリンパスEHS 423	1
〃	オリンパスBHS 111	1
スライド映写機	マスターハイルックスズーム 300	1
映写機	キャビン4A・アタッシュ	1
X線撮影機	東芝KXO-15型	1
マイコン心電計	多要素心電計 FCP-4101	1
マイクロ波治療機	ミナト医科学(株)製MT-300 N型	1
エースカウンター血球計数装置	フクダ電子 FLC-240	1
間接シャーカステン	オリオン製 ORS-4013型	1
ワードプロセッサ	東芝パーソナルワープロルポ JW98W	1
パーソナルコンピューター	アップル M3704 J/A	1
〃	アップル Logitec LCM-17	1
〃	FMV-DP845	1
テレビ	ソニー-KV 1300 外	4
ビデオコーダー	ナショナル AG 2700	1
パーソナルコンポネントステレオ	SONY MHC-P 77	1
血圧計	アコマ標準水銀	5
〃	ヤガミ スタンド式 外	5
シャーカステン	オリオン 卓上用	3
寝台	(ストレッチャ) マーキスMD 554 外	2
担架	NK-1 スチールパイプ 外	2
滅菌器	エルクレープMAC-500	1
車椅子	KAMO KM-8	1
処置台	NK-30	1
高速オーション・アナライ ザー尿自動分析装置	京都第一科学製 HS-7型	1
呼吸機能測定器	AS-500 ミナト医科学	1

品 名	規 格	数 量
V D T 視 力 計 一 式	トーマー製 NS-05 OLV型	3
オージオメーター 2人用	YN-2D型	1
体内脂肪計	タニタ TBF-102	1
肩整 タタキロボット	ナショナル モミモミ EP 569	1
摂取カロリー計算機	ダイエット カウンターB	1
検 耳 鏡	EN-29100 米国ウエルチアリ社	1
人口蘇生器	救急用 NKP-1型	1
皮下脂肪計	ヤガミ NK-60	1
人口呼吸訓練用人形	アイカニューレサシアン	2
実 験 台	ヤマト科学FFS-120M (R) 外	5
薬 品 戸 棚		7
器械卓子 (ステンレス製)	キャスター付き製	1
保 管 庫	ヤマト科学SLK-15 外	10
冷 蔵 庫	ナショナル (G) NR-174TR	4
肺 活 量 計		2
背 筋 力 計	スパート スタンダード型	1
デジタル全自動身長体重計	ヤガミ PHS-S型 09946	1
体 重 計	MSH-150 外	2
身 長 計	ヤガミ デジタル式 外	3
視 力 検 査 器	ヤガミ 8350-220 E S	2
座 高 計	ヤガミ デジタル式	2
医 療 バ ッ グ	G型 合成皮革	5
ス ク リ ー ン	三脚スタンド式	1
カ ロ リ ナ ー	スズケン 栄養指導用	1
370 視 力 検 査 器	YST-2	3

岐阜大学保健管理センター年報 第21号

平成10年3月 発行

編集
発行 岐阜大学保健管理センター
岐阜市柳戸1の1
TEL <058> 293-2174
(ダイヤルイン)